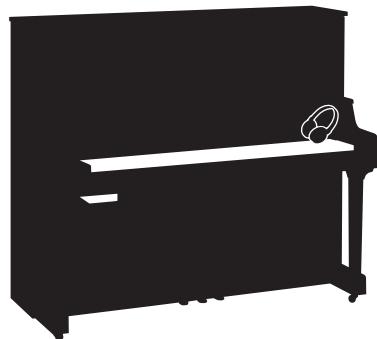




SILENT *Piano*TM

SC2



取扱説明書

ご使用の前に必ず4~7ページの「安全上のご注意」をお読みください。

ごあいさつ

このたびは、ヤマハサイレントピアノ™をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。この製品は、鍵盤機構などの基本的な部分はアコースティックピアノでありながら、必要なときに消音し、音色を変えたり録音したりして、充実した機能を楽しめます。本書では、サイレントピアノ™として搭載されたこれらの機能を中心に説明します。本機に搭載された機能を十分に活かし、演奏をお楽しみいただくため、本書をよくお読みになってからご使用ください。また、お読みになったあとも、いつでもご覧になれるところに大切に保管していただきますようお願いします。

取扱説明書について

本機には、以下の説明書が用意されています。

■ 冊子マニュアル



取扱説明書(本書)

サイレントピアノ™特有の、電源をオンにしたときに使える機能や使い方を中心に説明しています。アコースティックピアノとしての取り扱いについては、別冊のピアノの取扱説明書(機種共通)をご覧ください。

鍵盤操作一覧(43ページ)

鍵盤に割り当てられた機能の一覧を確認できます。

■ 電子マニュアル(PDF形式)



iPhone/iPad接続マニュアル

本機をiPhoneやiPadなどのスマートデバイスと接続する方法を説明しています。



コンピューターとつなぐ

本機とコンピューターを接続する方法や、データを送受信する方法などを説明しています。



MIDIリファレンス

本機のMIDIに関する資料を掲載しています。

これらのマニュアルは、ヤマハの下記ウェブサイトからご覧いただけます。

サポート・お問い合わせ

<https://jp.yamaha.com/support/>

付属品(お確かめください)

- | | |
|---------------|----|
| ・取扱説明書(本書) | 1冊 |
| ・電源アダプター | 1個 |
| ・電源コード | 1本 |
| ・ヘッドフォン | 1本 |
| ・ヘッドフォンハンガー | 1個 |
| ・ヘッドフォンハンガーリー | 2本 |

このほかにもすべてのアコースティックピアノに同梱されている付属品があります。
別冊のピアノの取扱説明書でご確認ください。

目次

| | | | |
|--|-----------|---------------------------------------|-----------|
| ごあいさつ | 2 | 4章 ほかの機器と接続する | 28 |
| 取扱説明書について | 2 | ほかのオーディオ機器と接続する ([AUX IN]端子) | 28 |
| 付属品(お確かめください) | 2 | コンピューターやスマートデバイスと 接続する | 29 |
| 安全上のご注意 | 4 | | |
| 注記(ご使用上の注意) | 8 | | |
| 本機の特長 | 9 | | |
| 1章 はじめに | 10 | 5章 その他の機能を使う | 31 |
| 各部の名称 | 10 | 便利な機能を設定する (ファンクション設定) | 31 |
| 電源を入れる/切る | 12 | バックアップデータと本機の初期化 | 39 |
| ヘッドフォンを使う | 13 | | |
| 2章 消音機能を使って演奏する | 14 | 6章 資料 | 40 |
| 消音演奏をする | 14 | 故障かな?と思ったら | 40 |
| 音色を選ぶ | 15 | 仕様 | 41 |
| メトロノームを使う | 17 | ソング一覧 | 42 |
| 3章 録音と再生 | 20 | 鍵盤操作一覧 | 43 |
| 内蔵メモリーに録音する(MIDI録音) | 20 | 索引 | 44 |
| 内蔵メモリーに録音したMIDIソングを 再生する | 21 | 保証とサービスについて | 46 |
| USBフラッシュメモリーに録音する (オーディオ録音) | 22 | | |
| USBフラッシュメモリーに保存した オーディオソングを再生する | 22 | | |
| USB機器を接続する | 23 | | |
| 音色デモ曲を再生する | 24 | | |
| プリセットソングを再生する | 25 | | |
| 再生中の操作 | 26 | | |
| 再生テンポを調節する | 27 | | |

スマートデバイスアプリ「スマートピアニスト」

専用のアプリケーション「スマートピアニスト」(無料)を使用すると、スマートデバイスで音色選択やメトロノームなどを直感的に操作したり、楽器本体に内蔵されている曲の譜面を表示したりできます。このアプリケーションについては、以下のウェブサイトでご確認ください。

<https://jp.yamaha.com/kbdapps/>

楽器とスマートデバイスの接続は、「スマートピアニスト」の接続ウィザードにより行ないます。

接続ウィザードを開始するには、「スマートピアニスト」の画面左上の「☰」(メニュー)をタップしてメニュー画面を開き、「楽器」→「接続ウィザードを開始する」を順にタップします。

安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様やほかの方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お子様がご使用になる場合は、保護者の方が以下の内容をお子様にご徹底くださいますようお願いいたします。

お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

■ 記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

| | |
|---|-------------------------|
|   | 「ご注意ください」という注意喚起を示します。 |
|     | ～しないでくださいという「禁止」を示します。 |
|    | 「必ず実行」してくださいという強制を示します。 |

■ 「警告」と「注意」について

以下、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。



警告

この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

電源アダプターについて



警告



ヤマハ製電子機器以外に使用しない。

電源アダプターは、ヤマハ製電子機器専用です。他の用途には、ご使用にならないでください。故障、発熱、火災などの原因になります。



電源アダプターは、室内専用のため屋外および水滴のかかる環境では、使用しない。また、水の入った物、花瓶などを機器の上に置かない。

内部に水などの液体が入ると、感電や火災、または故障の原因になります。



必ず実行

製品は電源コンセントの近くに設置する。電源プラグに容易に手が届く位置に設置し、異常を感じた場合にはすぐに製品の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、電源スイッチを切った状態でも微電流が流れています。この製品を長時間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

楽器本体について

⚠ 警告

電源 / 電源アダプター



電源コードをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、傷つけたりしない。また、電源コードに重いものをのせない。

電源コードが破損し、感電や火災の原因になります。



電源は必ず交流100Vを使用する。

エアコンの電源など交流 200V のものがあります。誤って接続すると、感電や火災のおそれがあります。



電源アダプターは、必ず指定のもの(41ページ)を使用する。

異なる電源アダプターを使用すると、故障、発熱、火災などの原因になります。



電源プラグにほこりが付着している場合は、ほこりをきれいに拭き取る。

感電やショートのおそれがあります。



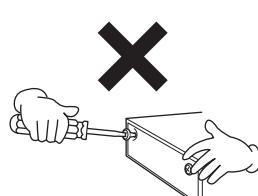
お手入れをするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。

感電のおそれがあります。



この製品の内部を開けたり、内部の部品を分解したり改造したりしない。

感電や火災、けが、または故障の原因になります。



水に注意



本体の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。また、浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。

内部に水などの液体が入ると、感電や火災、または故障の原因になります。入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた上で、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。感電のおそれがあります。

火に注意



本体の上にろうそくなど火気のあるものを置かない。

ろうそくなどが倒れたりして、火災の原因になります。

異常に気づいたら



下記のような異常が発生した場合、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。

- ・電源コード/プラグがいたんだ場合
- ・製品から異常なにおいや煙が出た場合
- ・製品の内部に異物が入った場合
- ・使用中に音が出なくなった場合

そのまま使用を続けると、感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。

⚠ 注意

電源 / 電源アダプター



たこ足配線をしない。

音質が劣化したり、コンセント部が異常発熱して火災の原因になることがあります。



電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く。

電源コードが破損して、感電や火災の原因になることがあります。



長期間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。

感電や火災、故障の原因になることがあります。

設置



不安定な場所に置かない。

本体が転倒して故障したり、お客様やほかの方々がけがをしたりする原因になります。



本体を移動するときは、必ず電源コードなどの接続ケーブルをすべて外した上で行なう。

コードをいためたり、お客様やほかの方々が転倒したりするおそれがあります。



本体を移動するときは、手や足を挟まないようにする。

けがをするおそれがあります。



本体を移動するときは、ゆっくりと丁寧に行なう。

本体が転倒したり、周囲のものと衝突したりするおそれがあります。本体の運搬、移動は専門の業者に依頼することをおすすめします。



必ず実行

この製品を電源コンセントの近くに設置する。

電源プラグに容易に手が届く位置に設置し、異常を感じた場合にはすぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、電源スイッチを切った状態でも微電流が流れています。この製品を長時間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

接続



必ず実行

すべての機器の電源を切った上で、ほかの機器と接続する。また、電源を入れたり切ったりする前に、機器のボリュームを最小にする。

感電、聴力障害または機器の損傷の原因になります。



必ず実行

演奏を始める前に機器のボリュームを最小にし、演奏しながら徐々にボリュームを上げて、適切な音量にする。

聴力障害または機器の損傷の原因になります。

取り扱い



禁止

鍵盤蓋や本体のすき間に手や指を入れない。また、鍵盤蓋で指などをはさまないように注意する。

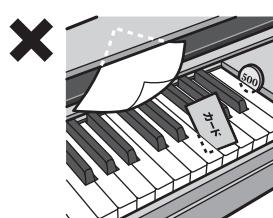
お客様がけがをするおそれがあります。



禁止

本体の開口部や鍵盤のすき間から金属や紙片などの異物を入れない。

感電、ショート、火災、故障や動作不良の原因になることがあります。



禁止

本体の上にのったり重いものをのせたりしない。また、ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。

本体が破損したり、お客様やほかの方々がけがをしたりする原因になります。



大きな音量で長時間使用しない。

聴覚障害の原因になります。特にヘッドフォンを使用する場合はご注意ください。万一、聴力低下や耳障りを感じた場合は、専門の医師にご相談ください。



使用しないときは、鍵盤蓋を閉める。鍵盤蓋の開閉は両手で静かに行なう。また、自分の周りの方が不用意に鍵盤蓋に触れないようにする。

鍵盤蓋に手や指を挟み、けがをするおそれがあります。



地震のときは、本体から離れる。

地震による強い揺れで本体が動いたり転倒したりして、けがをするおそれがあります。

- データが破損したり失われたりした場合の補償はいたしかねますので、ご了承ください。
- 不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねます。

使用後は、必ず電源を切りましょう。

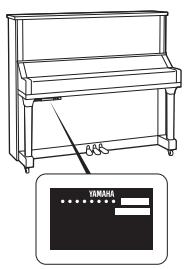
[] (スタンバイ / オン) スイッチを切った状態 (電源ランプが消えている) でも微電流が流れています。

[] (スタンバイ / オン) スイッチが切れているときの消費電力は、最小限の値で設計されています。この製品を長時間使用しないときは必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

機種名 (品番)、電源条件などの情報が、製品の底面にある銘板に表示されています。製造番号 (シリアルナンバー) はコントロールユニットの背面に記載されています。製品を紛失した場合などでもご自身のものを特定していただけるよう、機種名と製造番号については以下の欄にご記入のうえ、大切に保管していただくことをおすすめします。

機種名

製造番号



銘板はコントロールユニットの底面にあります。

(bottom_ja_02)

注記(ご使用上の注意)

製品の故障、損傷や誤動作、データの損失を防ぐため、以下の内容をお守りください。

■ 製品の取り扱いに関する注意

- ・テレビやラジオ、ステレオ、携帯電話など他の電気製品の近くで使用しないでください。楽器本体またはテレビやラジオなどに雑音が生じる原因になります。iPhone/iPadなどのスマートデバイスと一緒に使用する場合は、通信によるノイズを避けるため機内モードをオンにしてからWi-Fiをオンにしてお使いいただくことをおすすめします。
- ・直射日光のあたる場所(日中の車内など)やストーブの近くなど極端に温度が高くなるところ、逆に温度が極端に低いところ、また、ほこりや振動の多いところで使用しないでください。本体のパネルが変形したり、内部の部品が故障したり、動作が不安定になったりする原因になります。
- ・本体上にビニール製品やプラスチック製品、ゴム製品などを置かないでください。本体のパネルや鍵盤が変色/変質する原因になります。
- ・本体の表面に金属、陶器、その他硬い物を当てないでください。表面にひびが入ったり、はがれたりする原因になります。
- ・本体を移動するときは、引きずらないでください。床を傷つけるおそれがあります。

■ 製品のお手入れに関する注意

- ・塗装面の表面にほこりが目立つ場合はピアノ用毛バタキ〈別売〉、または、柔らかい布(付属品など)で軽く拭きとってください。表面に汚れが目立つ場合は水をしみこませて固くしぼった柔らかい布で汚れを拭きとった後、乾いた布でカラ拭きしてください。市販の各種洗剤や外装手入れ剤は、塗装面を変質させひび割れなどの原因となりますので使用しないでください。また、化学雑巾は使わないでください。表面の艶がなくなってきた場合は専用の外装手入れ剤を含ませた布でムラなく拭きあげてください。
- ・鍵盤の汚れは水をしみこませて固くしぼった柔らかい布で汚れを拭きとった後、乾いた布でカラ拭きします。外装の塗装面を拭いた布には、ユニコンなどが付着していますので、鍵盤のお手入れには使用しないでください。市販の各種洗剤やアルコール・ベンジンなどは、鍵盤表面のひび割れの原因となりますので使用しないでください。ピアノキークリーナー〈別売〉の使用をおすすめします。詳細は別冊のアップライトピアノ/グランドピアノ取扱説明書の「ご家庭でのお手入れについて」をご覧ください。
- ・極端に温湿度が変化すると、本体表面に水滴がつく(結露する)ことがあります。水滴をそのまま放置すると、木部が水分を吸収して変形する原因になります。水滴がついた場合は、柔らかい布ですぐに拭きとってください。

■ データの保存に関する注意

- ・この楽器に録音したMIDIソング(20ページ)は自動的に保存され、電源を切っても消えません。ただし保存されたデータは故障や誤操作などのために失われることがあります。大切なデータは、コンピューターなどの外部機器に保存してください(29ページ)。
- ・データを保存したUSBフラッシュメモリーの万一の事故に備えて、大切なデータは予備のUSBフラッシュメモリー/コンピューターなどの外部機器にバックアップとして保存されることをおすすめします。

この製品は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

お知らせ

■ データの著作権に関するお願い

- ・ヤマハ(株)および第三者から販売もしくは提供されている音楽/サウンドデータは、私的使用のための複製など著作権法上問題にならない場合を除いて、権利者に無断で複製または転用することを禁じられています。ご使用時には、著作権の専門家にご相談されるなどのご配慮をお願いします。
- ・この製品に内蔵または同梱されたコンテンツは、ヤマハ(株)が著作権を有する、またはヤマハ(株)が第三者から使用許諾を受けている著作物です。製品に内蔵または同梱されたコンテンツそのものを取り出し、もしくは酷似した形態で記録/録音して配布することについては、著作権法等に基づき、許されません。

※上記コンテンツとは、コンピュータープログラム、MIDIデータ、WAVEデータ、音声記録データ、楽譜や楽譜データなどを含みます。

※上記コンテンツを使用して音楽制作や演奏を行ない、それらを録音や配布することについては、ヤマハ(株)の許諾は必要ありません。

■ 製品に搭載されている機能/データに関するお知らせ

- ・内蔵曲は、曲の長さやイメージが原曲と異なる場合があります。

■ 取扱説明書の記載内容に関するお知らせ

- ・この取扱説明書に掲載されているイラストは、すべて操作説明のためのものです。したがって、実際の仕様と異なる場合があります。
- ・Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- ・iPhone、iPad、iPod touchは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- ・MIDIは社団法人音楽電子事業協会(AMEI)の登録商標です。
- ・その他、本書に記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。

本機の特長

- **あらゆるシーンでの演奏を可能にする消音システム**

ヤマハ独自の消音システムにより、優れた消音演奏性を実現。

周囲への音漏れを気にせず、いつでも自分だけの世界でアコースティックさながらの豊かな演奏を楽しむことができます。

- **豊かな表現を可能にする非接触式センサー**

演奏時の微細な指の動きを、鍵盤との接点がない非接触式の光センサーが忠実に検出。タッチに影響を与えることなく、微妙なニュアンスをきめ細かくキャッチし、豊かな演奏表現を可能にします。

- **ピアノに溶け込むデザイン**

コントローラーのデザインを一新、ピアノに溶け込む優美なデザインを実現しました。

操作もシンプルでわかりやすく、簡単にお使いいただけます。

- **多彩な表現を可能にするリアルな音色**

きらびやかな高音から重厚な低音まで、幅広い芳醇な音色を特徴とするヤマハ最高峰ピアノ「CFX」。繊細で温かみのあるワインナートーンで知られるベーゼンドルファー社*の「インペリアル」。これらをはじめとした魅力的な10種類の音色を搭載しています。

また、バイノーラルサンプリングなどの技術によりヘッドフォンを使って演奏しているときでも目の前のピアノから音が響いてくるような臨場感が楽しめます。ピアノ独特の鋭い立ち上がりと美しい余韻から、打鍵の強弱による音色の変化、ダンパーの共鳴効果にいたるまで、リアルなピアノ音色をお楽しみください。

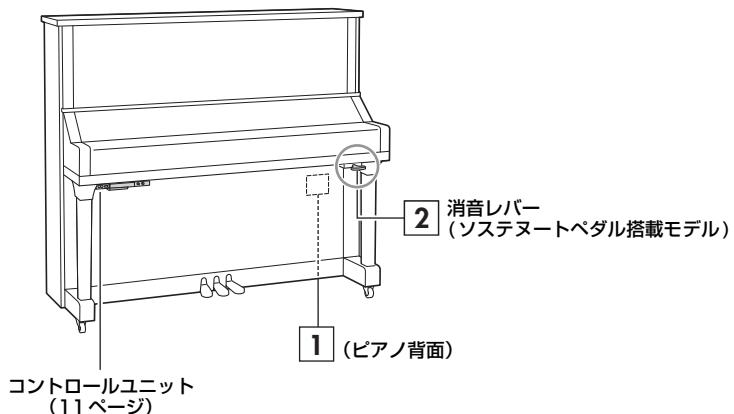
* ベーゼンドルファー社はヤマハのグループ会社です。

- **練習をサポートする録音/再生機能**

ご自身の演奏を内蔵メモリーやUSBフラッシュメモリーに録音し、再生できます。録音した演奏を客観的に聞き返すことができ、上達につながります。

各部の名称

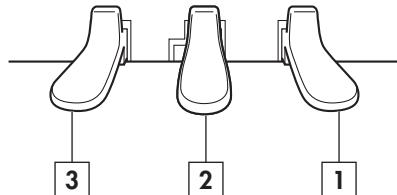
■ ピアノ本体



1 電源入力端子 (DC16V) (12ページ)
付属の電源アダプターを接続します (ピアノに
よってはコントロールユニットの背面)。

2 消音レバー (14ページ)
消音機能を起動します。

■ ペダル

**1 ダンパーペダル**

ペダルを踏むと、鍵盤から指を離したあとも、音が長く響きます。消音機能を使ってピアノ音色で演奏しているときに、このペダルを踏むと、VRM(36ページ)によりアコースティックピアノで得られる響板や弦の共鳴効果が加わります。

本機はハーフペダルに対応しており、消音時どの程度踏み込んだらハーフペダル効果がかかるかを設定できます(34ページ)。

2 消音ペダル

(ソステヌートペダル非搭載モデルの場合)
ペダルを踏んで左側にスライドさせて、ピアノ
を消音状態にします(14ページ)。

ソステヌートペダル

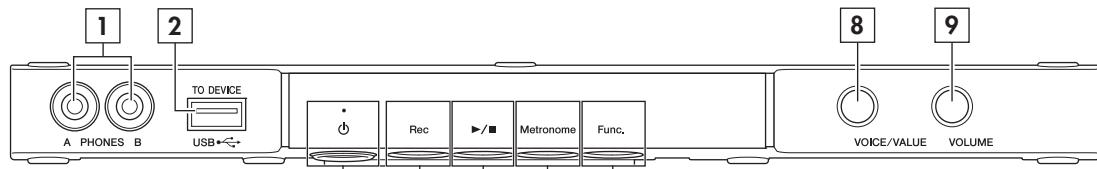
(ソステヌートペダル搭載モデルの場合)
ペダルを踏むと、そのとき押していた鍵盤の音
のみが長く響きます。

3 ソフトペダル

このペダルを踏んでいる間、ペダルを踏んだあとに弾いた音量をわずかに下げ、音の響きを柔らかくすることができます。

■ コントロールユニット

前面



底面



1 [PHONES] 端子 (13ページ)

ステレオミニプラグのヘッドフォンを接続します。2本まで同時に使えます。

2 USB [TO DEVICE] 端子 (23ページ)

USB フラッシュメモリーや別売のUSB 無線 LAN アダプターを接続します。

3 [⊕] (スタンバイ / オン) スイッチ (12ページ)

電源のスタンバイ / オンを切り替えます。

4 [Rec] ボタン (20ページ)

録音待機の状態にします。ランプの点灯の種類で録音状態を示します。

5 [▶/■] (再生 / 停止) ボタン (21ページ)

プリセットソングや録音した演奏の再生を開始 / 停止します。ランプの点灯の種類により再生状態を示します。

6 [Metronome] ボタン (17ページ)

メトロノームを操作します。ランプの点灯の種類により、メトロノームの状態を示します。

7 [Func.] ボタン (31ページ)

本機のさまざまな機能を設定します。

8 [VOICE/VALUE] つまみ

つまみを回して、演奏する音色を選んだり、設定値を調節したりします。つまみを押すと、音色や設定値をリセットできます。

9 [VOLUME] つまみ (14ページ)

[PHONES] 端子からの出力の音量を調節します。

10 [DC IN 16V] 端子 (12ページ)

電源接続用の端子です(ピアノによっては、納入時に、ピアノ背面の電源入力端子と接続されています)。

11 [SENSOR] 端子

(専門業者のみ取り扱いができます。) センサーに接続される端子です。納入時に接続されています。

12 [AUX IN] 端子 (28ページ)

ステレオミニプラグのオーディオケーブルを使って、携帯音楽プレーヤーなどのオーディオ機器と接続します。

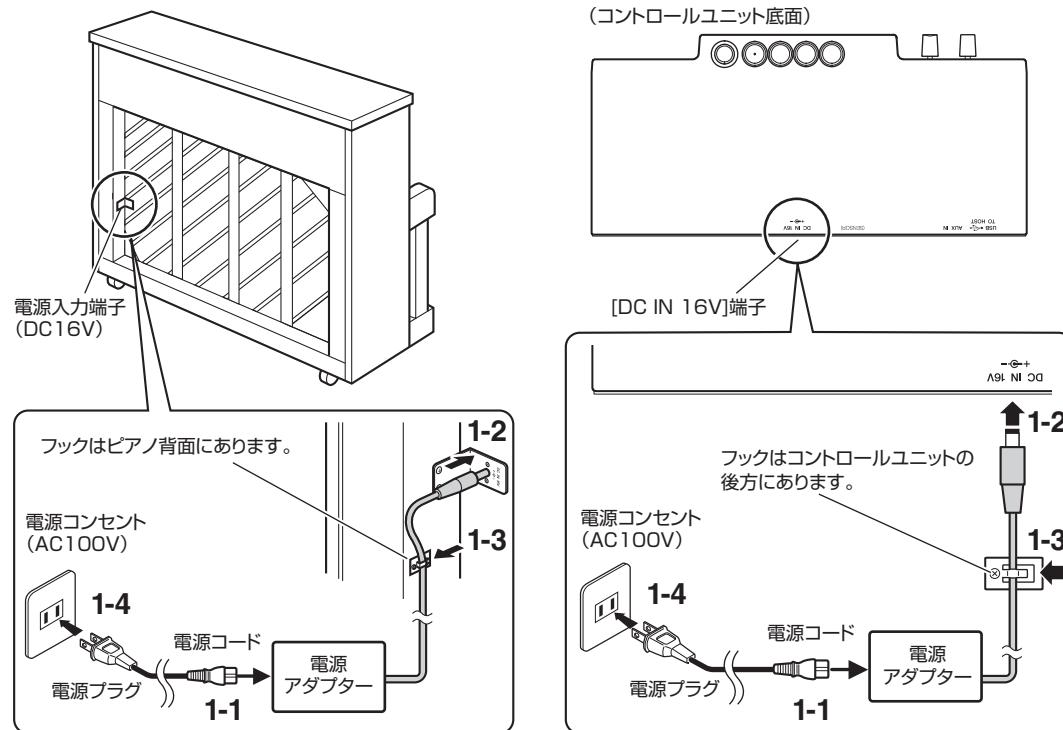
13 [USB [TO HOST] 端子 (29ページ)

コンピューターなどの外部機器と接続します。

電源を入れる/切る

1 図の順序で電源アダプターを接続します。

ピアノによって、電源入力端子(DC 16V)の位置が異なります。電源コードは、ピアノ背面またはコントロールユニットの後方にあるフックに通してください。



⚠ 警告

電源アダプターは、必ず指定のもの(41ページ)をご使用ください。異なった電源アダプターを使用すると、故障、発熱、火災などの原因になります。このような場合は、保期間内でも保証いたしかねることがございますので、十分にご注意ください。

⚠ 注意

本体はコンセントの近くに設置し、異常を感じた場合にはすぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

NOTE

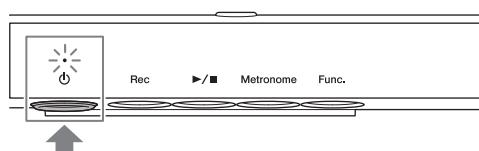
電源アダプターを外すときは、電源を切ってから、逆の手順で行なってください。

2 [⊕](スタンバイ/オン)スイッチを押して電源を入れます。

[⊕](スタンバイ/オン)スイッチのランプが点灯します。電源を切るには、もう一度スイッチを押します。

NOTE

鍵盤を押したまま電源を入れると正しく発音されません。電源を入れるときは鍵盤に触れないでください。



⚠ 注意

電源を切った状態でも微電流が流れています。この楽器を長時間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜いてください。

オートパワーオフ機能

電源の切り忘れによる無駄な電力消費を防ぐため、オートパワーオフ機能を搭載しています。これは、本機が操作されない状態が30分続くと自動的に電源が切れる機能です。

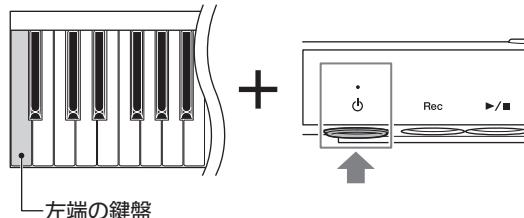
注記

外部機器と通信中の場合、無操作の状態が30分間続いても、電源は自動的には切れません。使用後は、手動で本機の電源を切ってください。

オートパワーオフ機能の解除

左端の鍵盤を押したまま電源を入れます。[Rec]ランプが3回点滅し、オートパワーオフ機能が解除された状態で電源が入ります。

電源が入った状態で、オートパワーオフ機能をオン/オフしたい場合は、37ページをご覧ください。



ヘッドフォンを使う

ヘッドフォンは、[PHONES]端子に接続して使用します。

[PHONES]端子は2つありますので、ヘッドフォンを2本接続して2人で演奏を楽しむこともできます。

1本だけ接続する場合は、どちらの端子をご使用いただいても構いません。

ヘッドフォンの使用時でも、バイノーラルサンプリング、またはステレオフォニックオプティマイザーにより、臨場感のある音をお楽しみいただけます。詳しくは16ページをご覧ください。



△ 注意

- 大きな音量で長時間ヘッドフォンを使用しないでください。聴覚障害の原因になります。
- ヘッドフォンのコードに足をひっかけて転倒しないようにご注意ください。

注記

ヘッドフォンのケーブルを無理に引っ張ったり、プラグに極端な力を加えたりしないでください。ヘッドフォンが破損して、音が正しく出力されない原因になります。

外部スピーカーを使う

ヘッドフォン端子は外部出力端子にもなります。アンプ内蔵スピーカーの入力端子を接続すれば、本機の音声を外部機器で鳴らすことができます。

注記

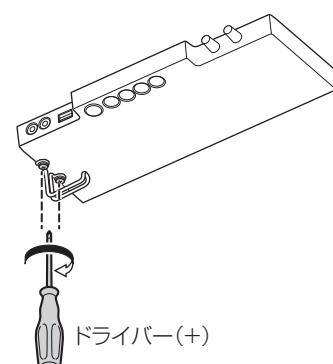
楽器本体の音を外部機器に出力するときは、最初に楽器本体、次に外部機器の順に電源を入れてください。電源を切るときはこの逆の順で行なってください。機器の損傷の原因になります。

■ ヘッドフォンハンガーを取り付ける

必要に応じて、付属の取り付けネジ(2個)でコントロールユニット底面に取り付けてください。

注記

ヘッドフォンハンガーにヘッドフォン以外のものを掛けないでください。本機またはヘッドフォンハンガーが破損する場合があります。

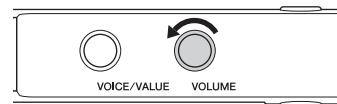


本機はアコースティックピアノとして演奏できますが、消音ピアノとしても演奏できます。ピアノを消音すると、コントロールユニットに内蔵された音色を使って演奏を楽しんだり、演奏を録音したりできます。さっそく消音機能を使ってみましょう。

消音演奏をする

1 [PHONES] 端子にヘッドフォンを接続します(13ページ)。

2 [VOLUME] つまみを左に回して音量を最小にします。



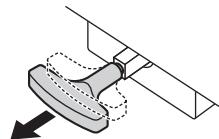
3 [ψ](スタンバイ/オン)スイッチを押して電源を入れます。

4 下記いずれかの操作で、ピアノを消音状態にします。

これにより、ハンマーが弦をたたかなくなります。

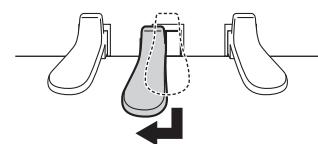
<ソステヌートペダル搭載の場合>

- 鍵盤右下の消音レバーを、カチッと音が聞こえるまで手前に引きます。



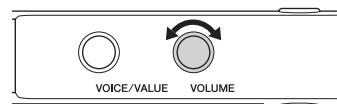
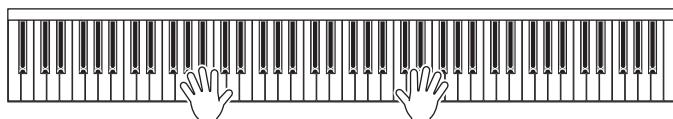
<ソステヌートペダル非搭載の場合>

- 消音ペダルを踏みながら左側にスライドさせます。



5 鍵盤を弾きながら [VOLUME] つまみを回して音量を調節します。

右に回すと音量は大きく、左に回すと小さくなります。



NOTE

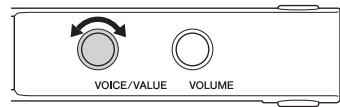
消音演奏時でもアコースティックピアノ特有の打鍵音は残ります。

音色を選ぶ

消音演奏では、本機に内蔵されているさまざまな音色で演奏できます。電源を入れたときは、必ず CFX グランドの音色が選ばれています。

CFX グランド以外の音色を選ぶ

[VOICE/VALUE] つまみを一段階ずつ回すと、下記の「音色一覧」の順で前後の音色に切り替わります。



CFX グランドの音色に戻す

[VOICE/VALUE] つまみを押します。

NOTE

- ・残響(リバーブ)の種類やかかり具合、タッチ感度、チューニング、音の明るさなどを設定できます(31 ページ)。
- ・音色の特徴をつかむには、音色ごとのデモ曲を聞いてみてください(24 ページ)。
- ・鍵盤を押さえながら音色を切り替えると音量が大きく変わることがあります。

■ 音色一覧

| 音色の種類 | 説明 | ステレオサンプリング | タッチ感度 | キーオフサンプリング | VRM | |
|------------|------------------|---|-------|------------|-----|----|
| ピアノ | | | | | | |
| 1 | バイノーラル CFXグランド | ヤマハコンサートグランドピアノCFXをヘッドフォン再生に適するようにバイノーラルサンプリング録音した音です。あたかも目の前でグランドピアノが鳴っているかのような臨場感をお楽しみいただけます。バイノーラル(36ページ)の設定がオンのときに演奏できます。 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | CFXグランド | ヤマハコンサートグランドピアノCFXの音色です。弱く弾いた音から強く弾いた音までのダイナミックレンジが広く、表情豊かな演奏ができます。あらゆるジャンルの演奏に最適な音色です。バイノーラル(36ページ)の設定がオフのときに演奏できます。 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 2 | ベーゼンドルファー インペリアル | ウィンナートーンで有名なベーゼンドルファー社のコンサートグランドピアノ、インペリアルの音色です。ピアノの大きさを感じさせる広がりある音が特徴で、曲の優しさを表現するのに最適です。 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 3 | アップライトピアノ | ヤマハアップライトピアノSU7をサンプリングした個性的な音です。アップライトピアノ特有の軽快な音色をお楽しみください。 | ○ | ○ | -- | ○ |
| エレピ | | | | | | |
| 4 | ステージエレピ | 金属片をハンマーでたたいて発音させる電気ピアノの音です。弱く弾いたときは柔らかく、強く弾くと芯のある音がします。 | -- | ○ | ○ | -- |
| 5 | DXエレピ | FMシンセサイザーによる電子ピアノの音です。タッチの強弱に応じて音色の変化も楽しめます。ポピュラー音楽に最適です。 | -- | ○ | -- | -- |
| 6 | ビンテージエレピ | ステージエレピと異なるタイプの電気ピアノの音です。ロック、ポピュラー音楽によく使われています。 | -- | ○ | ○ | -- |

| 音色の種類 | 説明 | | ステレオサンプリング | タッチ感度 | キーオフサンプリング | VRM |
|------------------|--|--|------------|-------|------------|-----|
| ハープシコード | | | | | | |
| 7 ハープシコード 8' | バロック音楽でよく使われる楽器の音です。タッチによる音量変化はなく、鍵盤を離したときには独特的な発音があります。 | | ○ | -- | ○ | -- |
| 8 チェレスタ | チェレスタ(鍵盤を弾くと、ハンマーが金属製の音板をたたいて音を出す打楽器)の音です。チャイコフスキーの組曲「くるみ割り人形」の「こんぺいとうの踊り」での印象的なフレーズが有名です。 | | ○ | ○ | -- | -- |
| オルガン | | | | | | |
| 9 オルガン プリンシバル | パイプオルガンのプリンシバル系(金管楽器系)の混合音栓の音(8フィート+4フィート+2フィート)です。バロック時代の教会音楽の演奏に適しています。 | | ○ | -- | -- | -- |
| 10 ジャズオルガン | 歯車回転式電気オルガンの音です。ロータリースピーカー効果込の豪華なサンプリング音色です。ジャズ、ロックなどの音楽でよく用いられます。 | | -- | -- | -- | -- |

表中の○は、その音色に下記のような特徴があることを示しています。

- **ステレオサンプリング:** ステレオサンプリングされた音色です。
- **タッチ感度:** 鍵盤を弾く強さに応じて、音の強弱の付き方(タッチ感度)が変わります。
- **キーオフサンプリング:** キーオフ音(鍵盤を離したときの微妙な発音)がサンプリングされた音色です。
- **VRM:** ダンパーべダルを踏んだときや鍵盤を押されたときの弦の共鳴音を物理モデルによりシミュレーションしたもので、この効果を付けるかどうかを設定できます。詳しくは36ページをご覧ください。

■ ヘッドフォンでも自然な音の広がりを

—バイノーラルサンプリングとステレオフォニックオプティマイザー—

ヘッドフォン使用時に臨場感のある音をお楽しみいただくため、音色により以下の2つの方式を採用しています。これらの効果は、オン/オフを設定できます(36ページ)。

バイノーラルサンプリング(CFXグランド音色のみ)

バイノーラルサンプリングとは、演奏者の耳と同じ位置に専用のマイクを備え付け、聞こえてくるピアノの音をそのままサンプリングする方式です。CFXグランドの音色では、ヘッドフォンを通して聞いても、あたかもピアノ本体から音が響いてくるような臨場感ある演奏をお楽しみいただけます。

ステレオフォニックオプティマイザー(CFXグランド以外のピアノ音色)

ステレオフォニックオプティマイザーとは、バイノーラルサンプリングのような自然な音の広がりを再現するエフェクトです。CFXグランド以外のピアノ音色を選んでいるときは、効果がかかり臨場感のある演奏をお楽しみいただけます。

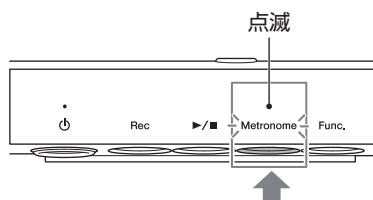
メトロノームを使う

内蔵されているメトロノームを使えば、お好みのリズムとテンポで演奏することができます。

1

[Metronome] ボタンを押してメトロノームを鳴らします。

メトロノームが鳴っている間、現在のテンポ設定で [Metronome] ランプがオレンジ色に点滅します。



NOTE

MIDIソング(21ページ)の再生中は、ソングのテンポや拍子に合わせてメトロノームが鳴ります。

2

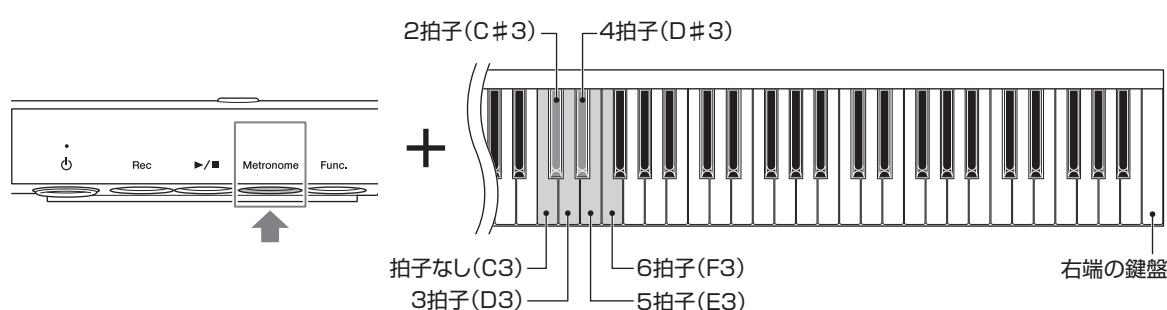
[Metronome] ボタンを押してメトロノームを止めます。

■ 拍子を設定する

[Metronome] ボタンを押したまま、C3～F3 鍵盤のどれかを押します。

最初の拍で「チーン」と鳴り、そのほかの拍では「カチカチ」と鳴ります。たとえば3に設定すると「チーンカチカチ」と鳴ります。拍子なしの場合は、すべての拍で「カチカチ」と鳴ります。

初期設定: 拍子なし (C3)

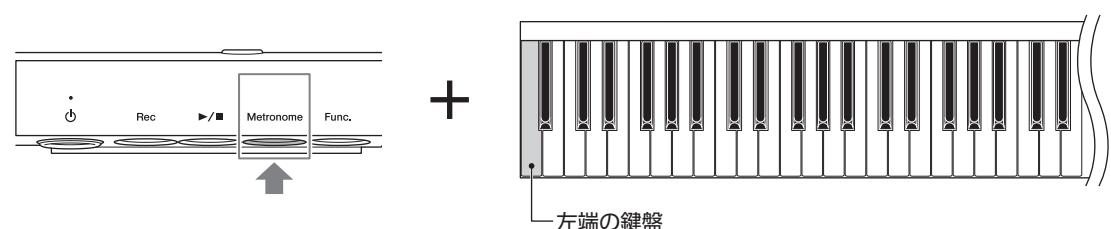


NOTE

- 拍子の設定値は1小節に入る四分音符の数で指定するため、それ以外の拍子を指定する場合は4分音符に換算した拍子で指定してください(3/2拍子の場合は6拍子を指定します)。
- 電源を切ると、メトロノームの拍子は初期設定に戻ります。

■ 現在のテンポの値を音声(英語)で読み上げる

[Metronome] ボタンを押したまま左端の鍵盤(A-1)を押します。



■ テンポを調節する

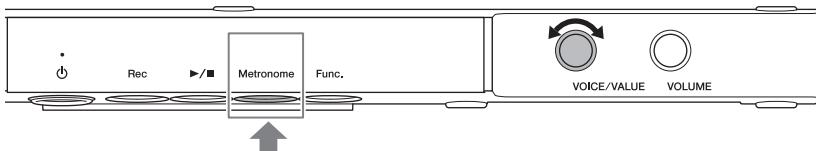
メトロノームのテンポは、以下のいずれかの方法で5～500（1分間の拍数）の範囲で設定できます。

NOTE

電源を切ると、メトロノームのテンポは初期設定に戻ります。

・つまみを回して調節する

[Metronome] ボタンを押したまま、[VOICE/VALUE] つまみを回してテンポを調節します。

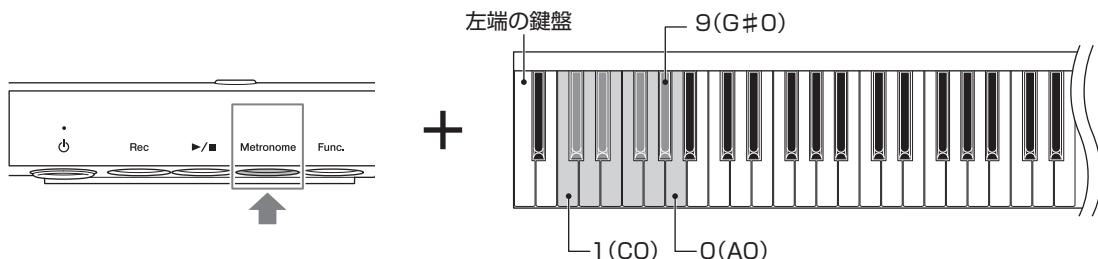


NOTE

オーディオソングの再生中に操作をすると、オーディオソングの再生速度が変わります（27ページ）。メトロノームのテンポは変わりません。

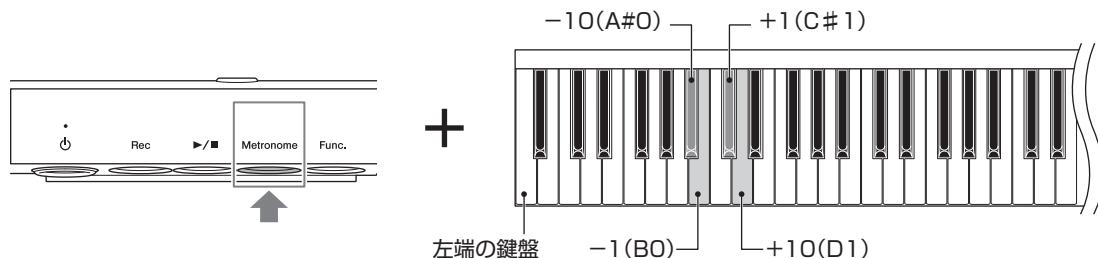
・テンポを数値で入力する

[Metronome] ボタンを押したまま C0～AO 鍵盤のどれかを押して、3桁の数字を 100 の位から順番に設定します。たとえば、テンポを 95 に設定したい場合は、[Metronome] ボタンを押したまま、AO (0)、G # 0 (9)、E0 (5) の順番で鍵盤を押します。入力した数値は音声（英語）で読み上げられます。



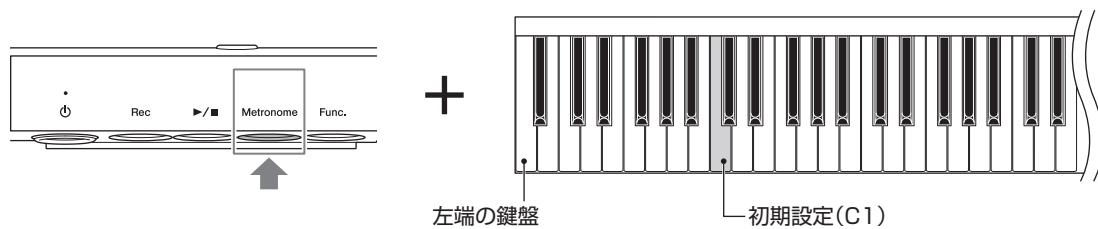
・テンポを1ずつ上げる/下げる、10ずつ上げる/下げる

[Metronome] ボタンを押したまま、以下の鍵盤を押します。

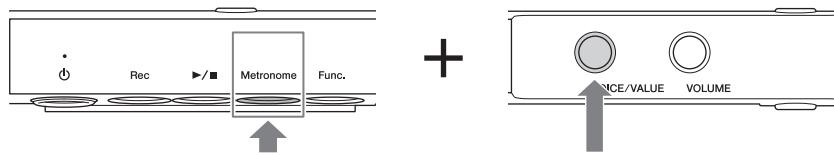


・テンポを初期設定に戻す

[Metronome] ボタンを押したまま、C1 鍵盤を押します。



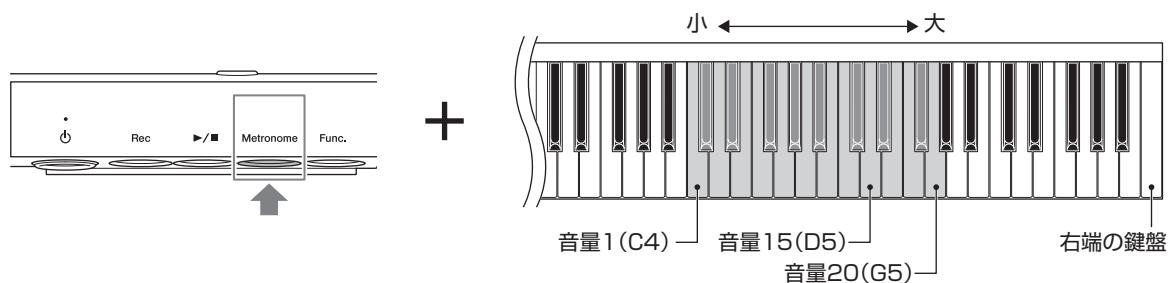
[Metronome] ボタンを押したまま [VOICE/VALUE] つまみを押して、初期設定に戻すこともできます。



■ メトロノームの音量を調節する

[Metronome] ボタンを押したまま、C4～G5 鍵盤のどれかを押してメトロノームの音量を設定します。右側の鍵盤ほど大きい音量になります。

初期設定: 15 (D5)



ご自身の演奏は、下記いずれかの方法で録音できます。演奏を録音したら、再生して聞いてみましょう。

MIDI録音

録音した演奏をMIDIソングとして内蔵メモリーに保存します。MIDIソングとは、打鍵やその強さなど、鍵盤の動きを演奏情報として記録したソングです。音そのものは記録されていません。MIDIソングには演奏時に選ばれている音色や拍子やテンポの情報も記録されます。また、録音したMIDIソングはSMF(フォーマット0)としてコンピューターに転送、保存できます(29ページ)。

オーディオ録音

録音した演奏をオーディオソングとしてUSBフラッシュメモリーに保存します。一般的なCD音質のステレオWAV形式(44.1kHz/16ビット、ステレオ)で保存されるので、コンピューターを使って携帯音楽プレーヤーなどに転送して再生できます。

NOTE

録音するときに、メトロノームを使うこともできます(17ページ)。ただし、メトロノームの音は録音されません。

内蔵メモリーに録音する(MIDI録音)

内蔵メモリーにはMIDIソングを1曲録音できます。録音したMIDIソングは、電源を切っても内蔵メモリーに残ります。

注記

内蔵メモリーに録音すると以前に録音した演奏に上書きされ、以前に録音した演奏は消去されます。大切なデータはコンピューターに保存してください(29ページ)。

NOTE

- 録音の容量は約500キロバイト(約55,000音符)で、目安としては標準的な曲で約40分です。ただし演奏中の頻繁なペダル操作や音色変更によっては、録音時間が5分ほどになることがあります。
- ソング再生中は録音できません。録音前にソングを停止してください。

1 USBフラッシュメモリーを接続している場合は、本機から取り外します。

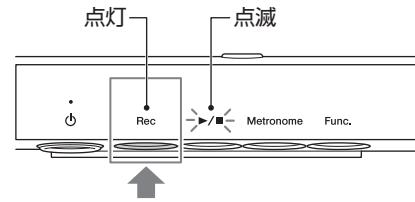
USBフラッシュメモリーが接続されているときは内蔵メモリーに録音できません。

2 [Rec]ボタンを押して録音待機状態にします。

[Rec]ランプが赤く点灯し、[▶/■](再生/停止)ランプがオレンジ色に点滅します。

NOTE

録音を中止するには、ここでもう一度[Rec]ボタンを押します。この場合、以前に録音した演奏は残ります(上書きされません)。

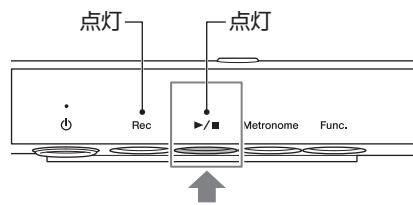


3 鍵盤を弾く、または[▶/■](再生/停止)ボタンを押して録音を開始します。

[▶/■](再生/停止)ランプが点灯に変わります。

注記

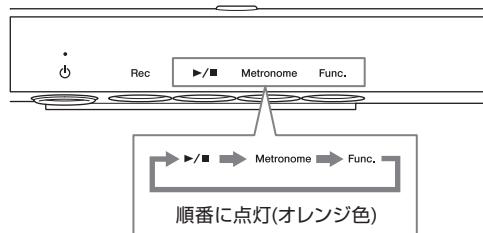
録音中または録音終了後に[Rec]ランプが点滅すると、内蔵メモリーの空き容量がなくなったことを示しています。この場合、すべてまたは一部のデータが保存されません。



4 [▶/■](再生/停止)または[Rec]ボタンを押して録音を終了します。

録音内容が保存されます。保存中は[▶/■]ランプ、[Metronome]ランプ、[Func.]ランプの順番にオレンジ色で点灯します。データの保存が完了すると、すべてのランプが白色点灯します。

保存中



注記

すべてのランプが白色点灯するまで電源を切らないでください。内蔵メモリーやデータが壊れるおそれがあります。

内蔵メモリーに録音したMIDIソングを再生する

内蔵メモリーに録音したMIDIソングを再生するには、USBフラッシュメモリーが接続されていない状態で以下の操作を行ないます。

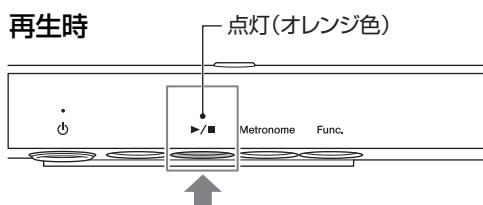
1 [▶/■](再生/停止)ボタンを押して再生をスタートします。

[▶/■](再生/停止)ランプがオレンジ色に点灯します。もう一度ボタンを押すと停止します。ソングの最後まで再生が終わると、自動的に再生が止まります。

NOTE

- 再生中の操作については26ページをご覧ください。
- 内蔵メモリーに何も録音されていない場合、MIDIソングは再生されません。

再生時



USB フラッシュメモリーに録音する(オーディオ録音)

USB フラッシュメモリーを接続すると、1曲あたり最長80分のオーディオソングを100曲まで録音できます。

NOTE

USB フラッシュメモリーを使う前に必ず「USB 機器を接続する」(23ページ)をご覧ください。

1 コントロールユニット前面の USB [TO DEVICE] 端子に USB フラッシュメモリーを接続します。

2 演奏を録音します。

操作は内蔵メモリーへの録音方法と同様です。詳しくは「内蔵メモリーに録音する(MIDI 録音)」(20ページ)をご覧ください。

録音したオーディオソングは、USB フラッシュメモリーの「USER FILES」というフォルダーに「USERAUDIO**.WAV」(**は00～99の数字)というファイル名で保存されます。

注記

録音するたびに数字が増え、「USERAUDIO099.WAV」まで達すると、次の録音から「USERAUDIO099.WAV」に上書きします。録音したデータをコンピューターにコピーするなどして、必要なデータが上書きされて失われないようご注意ください。

コンピューターを使ってファイル名の変更やファイルの削除をして、USB フラッシュメモリー内の途中の番号が空いた状態でも、常に最も大きい数字のファイル名で保存されます。

NOTE

コンピューターーやスマートデバイスなどの外部機器からのオーディオ入力音([AUX IN]端子、USB [TO HOST]端子、無線 LANでの接続)も録音されます。外部機器の接続方法は、28ページをご覧ください。

USB フラッシュメモリーに保存したオーディオソングを再生する

本機で再生できるのは、USB フラッシュメモリー内の最新のオーディオソング(ファイル名の数字が最大のもの)のみです。そのほかのソングを再生したい場合は、コンピューターーや携帯音楽プレーヤーなどのオーディオ再生機器をお使いください。

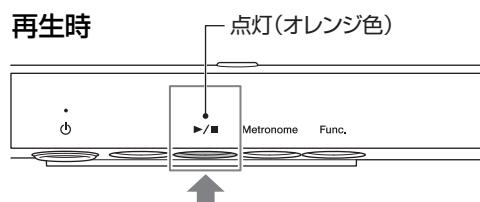
1 USB [TO DEVICE] 端子に、再生したいオーディオソングが入った USB フラッシュメモリーを接続します。

2 [▶/■](再生/停止)ボタンを押して再生をスタートさせます。

[▶/■](再生/停止)ランプがオレンジ色に点灯します。もう一度ボタンを押すと停止します。ソングの最後まで再生が終わると、自動的に再生が止まります。

NOTE

- 再生中の操作については26ページをご覧ください。
- コンピューターを使って、ファイルを「USER FILES」フォルダーの外へ移動したり、「USERAUDIO**.WAV」(**は00～99の数字)以外のファイル名に変更したりすると、本機では再生できません。



USB機器を接続する

USB [TO DEVICE] 端子には、USB フラッシュメモリーや別売のUSB 無線 LAN アダプターを接続します。USB フラッシュメモリーに演奏を録音したり(22ページ)、別売のUSB 無線 LAN アダプターを使ってスマートデバイスと無線通信(29ページ)したりできます。

USB [TO DEVICE] 端子ご使用上の注意

本機にはUSB [TO DEVICE] 端子があります。USB [TO DEVICE] 端子にUSB機器を接続する場合は、以下のことをお守りください。

NOTE

USB機器の取り扱いについては、お使いのUSB機器の取り扱い説明書もご参考ください。

■ 使用できるUSB機器

- USB フラッシュメモリー
- USB ハブ
- USB 無線 LAN アダプター (UD-WL01、別売)

上記以外のUSB機器(マウス、コンピューターのキーボードなど)は、接続しても使えません。

動作確認済みUSB機器については、ご購入の前にインターネット上の下記URLでご確認ください。

<https://jp.yamaha.com/products/contents/pianos/support/index.html>

本機では、USB2.0～3.0の機器がご使用できますが、機器への保存や機器からの読み込みにかかる時間は、データの種類や本機の状態により異なりますのでご了承ください。

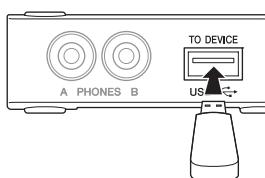
本機ではUSB1.1は使用できません。

注記

USB [TO DEVICE] 端子の定格は、最大5V/500mAです。定格を超えるUSB機器は故障の原因になるため、接続しないでください。

■ USB機器の接続

USB [TO DEVICE] 端子の形状に合うプラグを上下の向きに注意して差し込んでください。



注記

- USB機器の抜き差しは、再生や録音中およびUSB機器へのアクセス中には行なわないでください。本機の機能が停止したり、USB機器やデータが壊れたりするおそれがあります。
- USB機器の抜き差しは、数秒間隔を空けて行なってください。

NOTE

- 1つのUSB [TO DEVICE] 端子に2台以上のUSB機器を同時に接続したい場合は、USB ハブを使います。USB ハブをバスパワーでお使いください。USB ハブは1台のみ使用可能です。USB ハブの使用中にエラーメッセージが出た場合は、本機からUSB ハブを抜き、本機の電源を入れ直した上で、再度USB ハブを接続してください。
- USB機器の接続にはケーブルは使用できません。

USB フラッシュメモリーの取り扱いについて

本機にUSB フラッシュメモリーを接続すると、本機で録音したデータをUSB フラッシュメモリーに保存したり、USB フラッシュメモリーのデータを本機で再生したりできます。

■ 接続できるUSB フラッシュメモリーの数

同時に使用できるUSB フラッシュメモリーは、1台までです。(USB ハブを使用した場合でも、同時に使用できるUSB フラッシュメモリーは1台までです。)

■ USB フラッシュメモリーのフォーマット

USB フラッシュメモリーは、コンピューターを使ってFAT形式でフォーマットしてください。

注記

フォーマットを実行すると、そのUSB フラッシュメモリーの中身は消去されます。必要なデータが入っていないのを確認してからフォーマットしてください。

■ 誤消去防止

USB フラッシュメモリーには、誤ってデータを消してしまわないようライトプロテクト機能のついたものがあります。大切なデータが入っている場合は、ライトプロテクトで書き込みができないようにしましょう。逆にデータを保存する場合などは、ご使用の前にお使いのUSB フラッシュメモリーのライトプロテクトが解除されていることをご確認ください。

■ USB フラッシュメモリー接続時に電源を切るには

電源を切る場合は、再生/録音によるUSB フラッシュメモリーへのアクセス中でないことを確認してください。USB フラッシュメモリーやデータが壊れたりするおそれがあります。

音色デモ曲を再生する

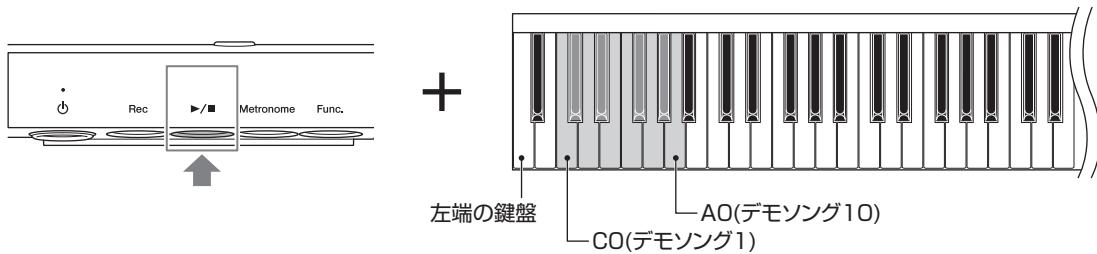
内蔵されている10種類の音色デモ曲(デモソング)を再生します。

- 1** [▶/■](再生/停止)ボタンを押したまま、CO～AO鍵盤のどれかを押して再生するデモソングを選びます。

選んだデモソングの再生が始まります。

NOTE

再生中の操作については26ページをご覧ください。



デモソング一覧

| 鍵盤 | デモソング番号 | 音色名 | 曲名 | 作曲者 |
|-----|---------|-----------------|------------------------|-------------------|
| CO | 1 | CFX グランド | 献呈 | F.リスト / R.シューマン |
| C♯0 | 2 | ベーゼンドルファーインペリアル | 乙女の願い(6つのポーランドの歌) | F.リスト / F. F.ショパン |
| D0 | 3 | アップライトピアノ | イタリア協奏曲 第1楽章 | J. S.バッハ |
| D♯0 | 4 | ステージエレピ | オリジナル | — |
| E0 | 5 | DXエレピ | オリジナル | — |
| F0 | 6 | ビンテージエレピ | オリジナル | — |
| F♯0 | 7 | ハープシコード 8' | チェンバロ協奏曲 第7番 | J. S.バッハ |
| G0 | 8 | チェレスタ | 金平糖の踊り(くるみ割り人形) | P. I.チャイコフスキイ |
| G♯0 | 9 | オルガン プリンシバル | 神のひとり子なる主キリスト(オルガン小曲集) | J. S.バッハ |
| AO | 10 | ジャズ オルガン | オリジナル | — |

- 2** [▶/■](再生/停止)ボタンを押して停止します。

ソングの最後まで再生が終わると、自動的に再生が止まります。

プリセットソングを再生する

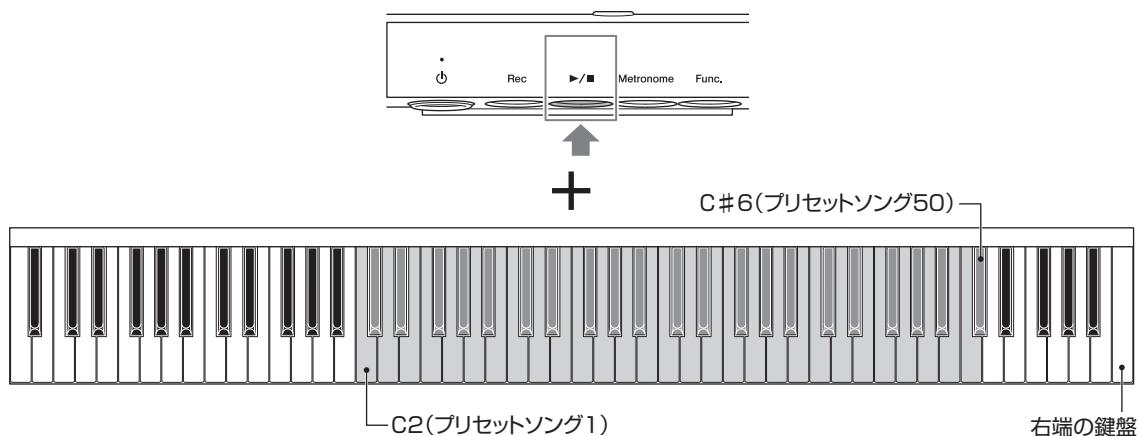
内蔵されているピアノソング「クラシック名曲50選」(プリセットソング)を再生します。

- 1 [▶/■](再生/停止)ボタンを押したまま、C2～C♯6鍵盤のどれかを押して再生するプリセットソングを選びます。

選んだプリセットソングの再生が始まります。鍵盤に割り当てられたプリセットソングは「ソング一覧」(42ページ)をご覧ください。

NOTE

再生中の操作については26ページをご覧ください。



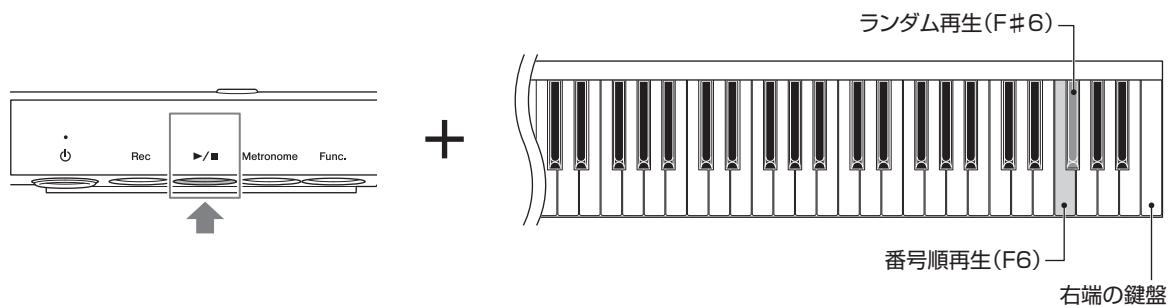
- 2 [▶/■](再生/停止)ボタンを押して停止します。

ソングの最後まで再生が終わると、自動的に再生が止まります。

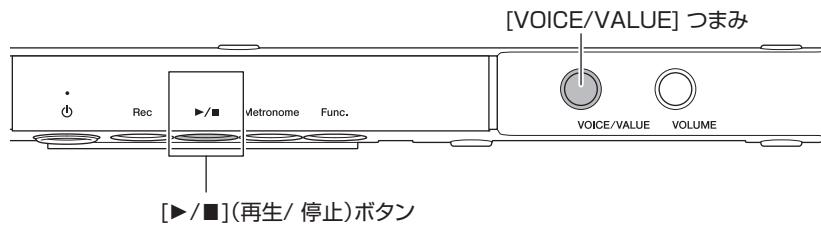
■ 連続再生

すべてのプリセットソングを、連続して再生できます。[▶/■](再生/停止)ボタンを押したまま、F6またはF♯6鍵盤を押して、再生をスタートさせます。

- ・ **番号順再生 (F6):** ソング番号1から順に再生します。50曲の再生が終わると、再度1番から再生を続けます。
- ・ **ランダム再生 (F♯6):** ランダム(順不同)に再生します。50曲の再生が終わると、再度ランダムに再生を続けます。



再生中の操作



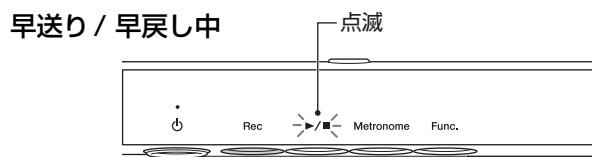
再生を停止する

[▶/■](再生/停止)ボタンを押して停止します。次に再生するときは、曲頭から再生が始まります。

早送り/早戻しする

[▶/■](再生/停止)ボタンを押したまま、[VOICE/VALUE] つまみを回します。左に回すと早戻し、右に回すと早送りできます。

MIDIソングやプリセットソングの場合は小節単位、オーディオソングの場合は秒単位で再生位置が移動します。



NOTE

デモソングは早送り/早戻しできません。

再生テンポを調節する

ソングはテンポ(または速度)を変えて再生できます。

MIDIソング(デモソング、プリセットソングも含む)

メトロノームと同じ操作でテンポを変更できます。設定方法は「テンポを調節する」(18ページ)をご覧ください。

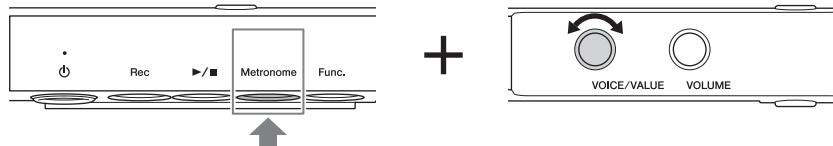
NOTE

- MIDIソングのテンポを変えると、メトロノームも同じテンポに変わります。
- 曲の途中でテンポが変わるMIDIソングの場合、相対的にテンポが変わります。たとえば、曲頭のテンポが100、途中で120に変わるMIDIソングの場合、曲頭のテンポを110(10%速くする)にすると、途中のテンポが132(10%速くなる)になります。

オーディオソング

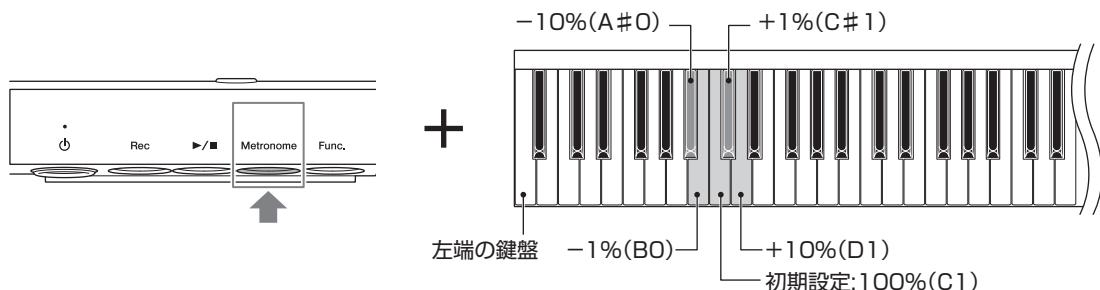
USBフラッシュメモリー内のオーディオソングの再生速度を調整します。元の速度を100%として、75%~125%の範囲で調節できます。

再生中に、[Metronome]ボタンを押したまま、[VOICE/VALUE]つまみを回して再生速度を調節できます。



[Metronome]ボタンを押したまま[VOICE/VALUE]つまみを押すと、元の速度に戻せます。

[Metronome]ボタンを押したまま、A♯0~D1鍵盤のどれかを押すと、1%ずつまたは10%ずつ、増減できます。



NOTE

オーディオソングの速度を変えても、メトロノームのテンポは変わりません。

⚠ 注意

外部機器と接続するときは、すべての機器の電源を切った上で行ってください。また、電源を入れたり切ったりする前に、必ず機器のボリュームを最小(0)にしてください。感電、聴力障害または機器の損傷の原因になります。

ほかのオーディオ機器と接続する ([AUX IN] 端子)

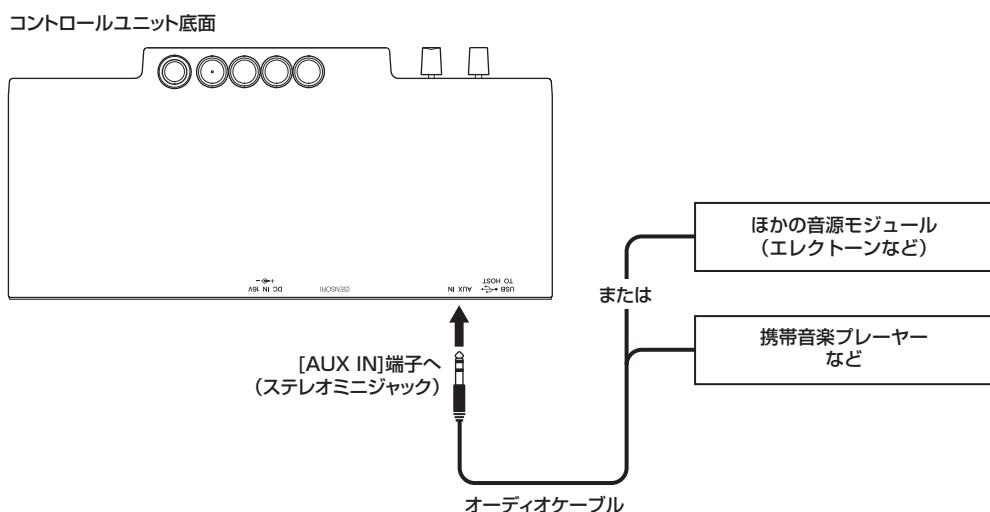
[AUX IN] 端子にほかの音源モジュールや再生機器(携帯音楽プレーヤーなど)を接続すると、接続機器の入力音声に合わせて消音演奏ができます。

NOTE

オーディオ接続ケーブルおよび変換プラグは、抵抗のないものをお使いください。

■ [AUX IN] 端子の使用例

本機の[VOLUME]つまみは[AUX IN]端子から入力された音と、本機の音の両方を調整できます。2つの音声のバランスは、接続機器の出力音量で調整してください。



NOTE

本機は[AUX IN]端子に入力された音に対し、余分なノイズをカットしています。しかし、本来ノイズではないピアノの減衰音のような小さな音をノイズとみなしてカットしてしまうことがあります。このような場合は、ノイズゲートをオフに設定してください(37ページ)。

コンピューターやスマートデバイスと接続する

楽器をコンピューターやスマートデバイスと接続すると、できることの幅が広がります。

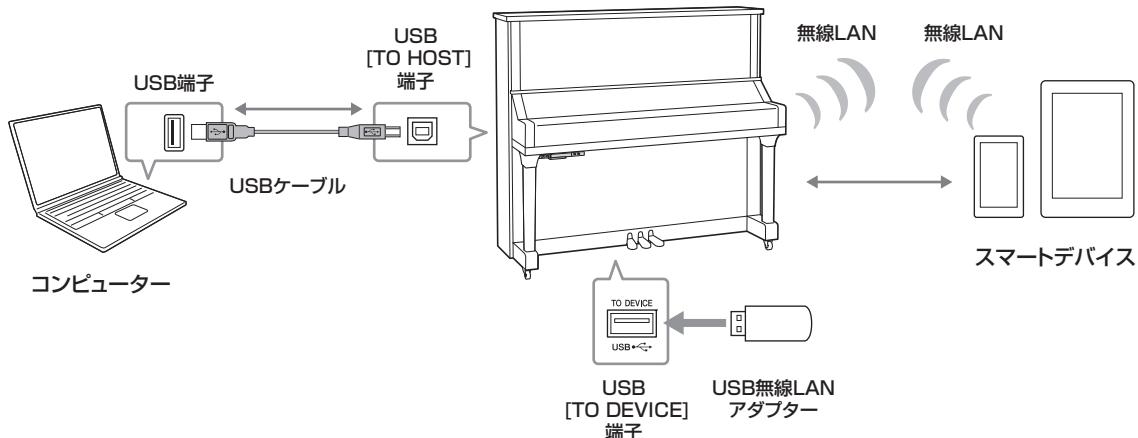
接続してできること

- ・オーディオデータを送受信する (USBオーディオインターフェース機能 30ページ)
- ・スマートデバイスアプリを使う (30ページ)
- ・MIDIデータを送受信する
- ・本機に録音したソングをコンピューターに保存する

NOTE

MIDIデータの送受信や、ソングをコンピューターに保存する方法など、詳しくはウェブサイト上の「コンピューターとつなぐ」をご覧ください。

接続例



スマートデバイスアプリの「スマートピアニスト」を使うことで、スマートデバイスとの接続がより簡単にできます (3ページ)。

その他の接続方法について詳しくは、ウェブサイト (2ページ) 上の「コンピューターとつなぐ」や「iPhone/iPad接続マニュアル」をご覧ください。

注記

- ・USBケーブルは、ABタイプのものをご使用ください。また、3メートル未満のケーブルをご使用ください。USB3.0ケーブルは、ご使用できません。
- ・DAW (Digital Audio Workstation)などの音楽制作用アプリケーションと一緒に使用する場合、設定によっては大きな音が発生することがあるため、オーディオループバックをオフにしてご使用ください (38ページ)。
- ・コンピューターやスマートデバイスを不安定な場所に置かないでください。落下して破損するおそれがあります。

NOTE

- ・本機をコンピューターやスマートデバイスとUSBケーブルで接続する場合は、ハブを経由せず直接接続してください。
- ・使用するコンピューターやシーケンスソフトウェアでの必要なMIDI設定については、それぞれの取扱説明書をお読みください。
- ・オーディオデータの送受信をWindows搭載のコンピューターで行なう場合は、Yamaha Steinberg USB Driverをコンピューターにインストールする必要があります。詳しくは、ウェブサイト上の「コンピューターとつなぐ」をご覧ください。
- ・USB [TO DEVICE] 端子を使う前に、「USB [TO DEVICE] 端子ご使用上の注意」 (23ページ) をお読みください。
- ・スマートデバイスを本機の近くで使用する場合は、通信によるノイズを避けるため、電波を発しない状態に設定 (例: 機内モードをオンに設定) してお使いいただくことをおすすめします。
- ・本機はコンピューターやスマートデバイスとの接続後しばらくしてから通信を開始します。

■ オーディオ信号を送受信する (USB オーディオインターフェース機能)

USB ケーブルを使って、コンピューターやスマートデバイスを USB [TO HOST] 端子に接続すると、オーディオデータをデジタルで送受信できます。一例として次のことができます。

• オーディオデータを高音質で再生

[AUX IN] 端子での接続と比べて、音質の劣化が少なくクリアな音質で楽しめます。

• 録音ソフトや音楽制作ソフトを使って、楽器の演奏をオーディオデータとして録音

録音したデータは、コンピューターやスマートデバイスで再生できます。

NOTE

- オーディオデータの入力音量は、コンピューターまたはスマートデバイス側で調節してください。
- コンピューターやスマートデバイスから楽器へのオーディオ入力音を、楽器での演奏音とともにコンピューターやスマートデバイスに出力するかどうかを設定できます。詳しくは、38ページの「オーディオループバック」をご覧ください。

■ スマートデバイスアプリを使う

楽器に対応したアプリを使うと、もっと便利に楽しめます。特に、「スマートピアニスト」(3ページ)を使うと、スマートデバイスから本機の操作ができ、大変便利です。本機に対応のアプリや対応するスマートデバイスに関する情報は、以下のウェブサイトにある各アプリのページでご確認ください。

<https://jp.yamaha.com/kbdapps/>

ここでは別売の USB 無線 LAN アダプター UD-WL01 を使った接続方法を説明します。その他の接続方法については、「iPhone/iPad 接続マニュアル」をご覧ください。

NOTE

「スマートピアニスト」をご使用の場合には、「スマートピアニスト」の接続ウィザードにより楽器とスマートデバイスを接続することができます(3ページ)。

USB 無線 LAN アダプター (UD-WL01 / 別売) を使った接続

USB 無線 LAN アダプター UD-WL01 を使った接続方法は 2 通りあります。

• アクセスポイントモードによる接続

本機と接続できるアクセスポイントがない場合や、スマートデバイスと本機を接続しているときに、ほかのネットワークに接続する必要がない場合に、この方法で接続します。

アクセスポイントを経由せずに、無線 LAN アダプターとスマートデバイスを直接接続する方法です。

アクセスポイント

無線 LAN で電波のやりとりを行なうときの基地局となる機器です。ルーターやモデムと一体になっている場合もあります。

• インフラストラクチャーモードによる接続 (WPS による接続)

スマートデバイスを本機と接続しながら、ほかのネットワークにも接続する場合に、この方法で接続します。

無線 LAN アダプターが、アクセスポイントを経由して、ネットワークに接続する方法です。

1 UD-WL01 を USB [TO DEVICE] 端子に接続します。

2 UD-WL01 の WPS ボタンを 3 秒間長押しします。

3 手順 2 のあと、2 分以内にお使いのアクセスポイントの WPS ボタンを押します。

1 必要に応じて、本機を初期化します (39 ページ)。

2 UD-WL01 を USB [TO DEVICE] 端子に接続します。

3 スマートデバイスと本機 (アクセスポイント) を接続します。

NOTE

インフラストラクチャーモード(右記参照)からアクセスポイントモードに切り替える場合は、本機を初期化してください。

NOTE

一度インフラストラクチャーモードで接続したことがある場合は、手順 2、3 を行なわなくても、自動的に接続されます。

便利な機能を設定する(ファンクション設定)

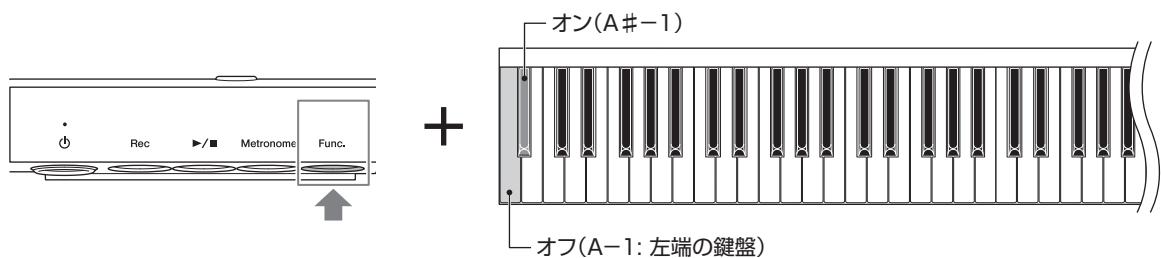
音の高さの微調整やタッチ感度の調節など、内蔵されているさまざまな機能(ファンクション)をお好みに設定して、よりいっそう豊かな演奏を楽しみましょう。

ファンクション設定一覧

| ファンクション設定項目 | | ページ |
|--------------|----------------|-------|
| 操作音オン/オフ | | 32ページ |
| 鍵盤 | タッチ感度 | 32ページ |
| | マスターチューニング | 33ページ |
| | トランスポーズ | 33ページ |
| ハーフペダルの位置 | | 34ページ |
| 音響 | リバーブ(残響効果)の種類 | 34ページ |
| | リバーブの深さ(かかり具合) | 35ページ |
| | ブリリアンス | 35ページ |
| | バイノーラルオン/オフ | 36ページ |
| | VRMオン/オフ | 36ページ |
| MIDI | ローカルコントロール | 37ページ |
| オートパワーオフ | | 37ページ |
| AUX INノイズゲート | | 37ページ |
| バージョン読み上げ | | 38ページ |
| オーディオループバック | | 38ページ |

ファンクションの設定は、[Func.] ボタンを押したまま、該当する鍵盤またはボタンを押して行ないます。以降は操作方法をイラストで説明しています。

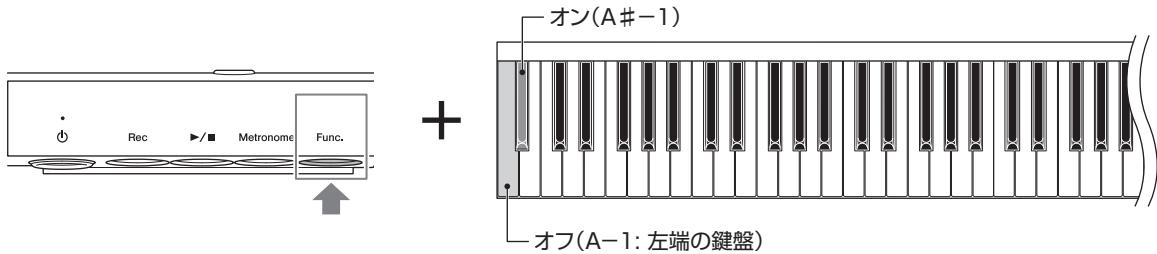
(例)



これは、[Func.] ボタンを押したまま、A-1 または A#-1 鍵盤を押すという操作です。

■ 操作音オン/オフ

ボタンと鍵盤を使って設定を変更したときに、操作音(クリック音、または「オン」「オフ」)が鳴ります。この操作音を鳴らす(オン)、鳴らさない(オフ)を設定できます。



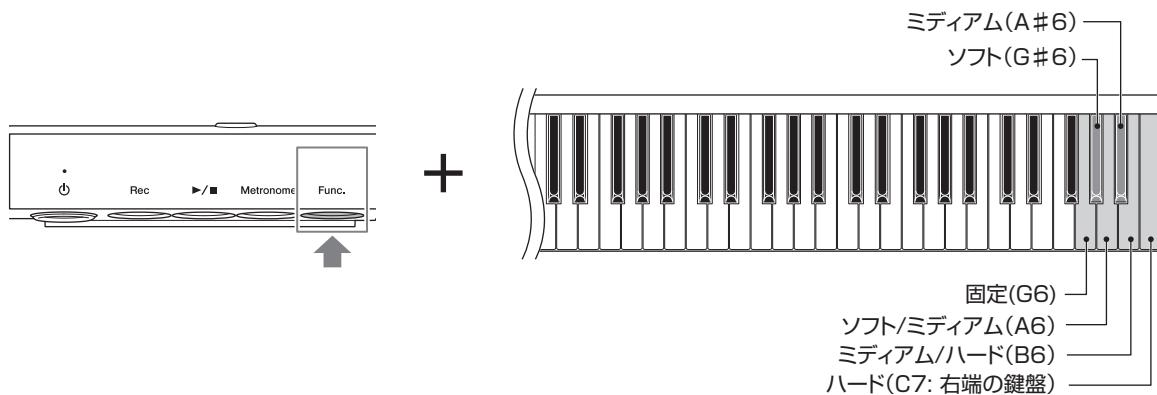
初期設定: オン

NOTE

メトロノームのテンポの数値読み上げ(18ページ)は、操作音をオフにしても行なわれます。

■ タッチ感度

鍵盤を弾く強さに対する音の強弱の付きかた(タッチ感度)を選びます。



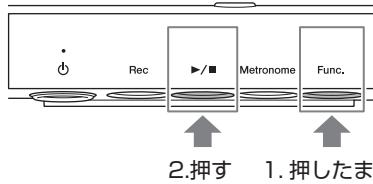
- ・ **固定:** タッチによる強弱は付かず一定のボリュームが出ます。
- ・ **ソフト:** 弱いタッチで大きい音を出すことができます。
- ・ **ソフト/ミディアム:** ソフトとミディアムの中間です。
- ・ **ミディアム:** 標準的なタッチです。
- ・ **ミディアム/ハード:** ハードとミディアムの中間です。
- ・ **ハード:** 強いタッチで弾かないと大きい音が出にくい設定です。

初期設定: ミディアム

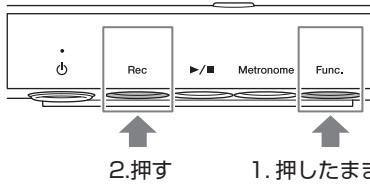
■ マスターチューニング

全体の音の高さ(ピッチ)を微調整します。ほかの楽器や携帯音楽プレーヤーの再生音に合わせて演奏するときなど、ピッチを正確に合わせたい場合に使います。

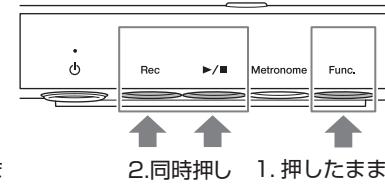
ピッチを上げる



ピッチを下げる



初期設定に戻す



設定範囲：A3=414.8～466.8Hz (0.2Hz単位)

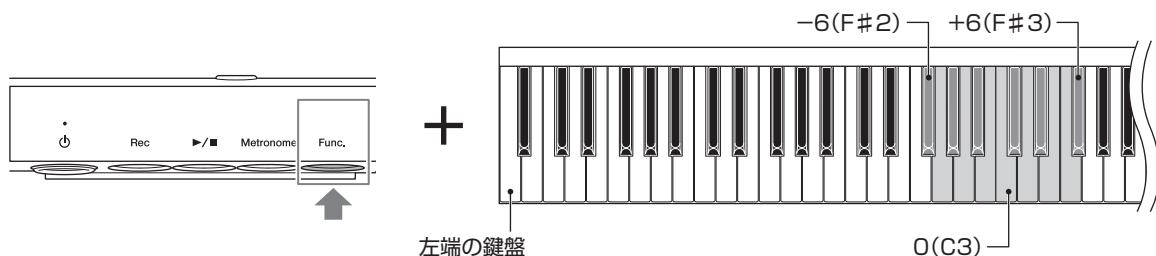
初期設定：A3=440.0Hz

NOTE

ここで設定は、オーディオソングのピッチには影響しません。MIDIソングのピッチは変わりますが、録音(記録)されません。

■ トランスポーズ

鍵盤演奏音の高さを半音単位で移調(トランスポーズ)します。ここで設定により、弾く鍵盤を変えずに、ほかの楽器や歌う人の声の高さにキー(調)を合わせられます。たとえば、移調量を「5」に設定すると、「ド」の鍵盤を弾いたときに「ファ」の音が鳴り、「ハ長調」の弾きかたで「ヘ長調」の演奏ができます。



設定範囲：-6～0～+6 (半音単位)

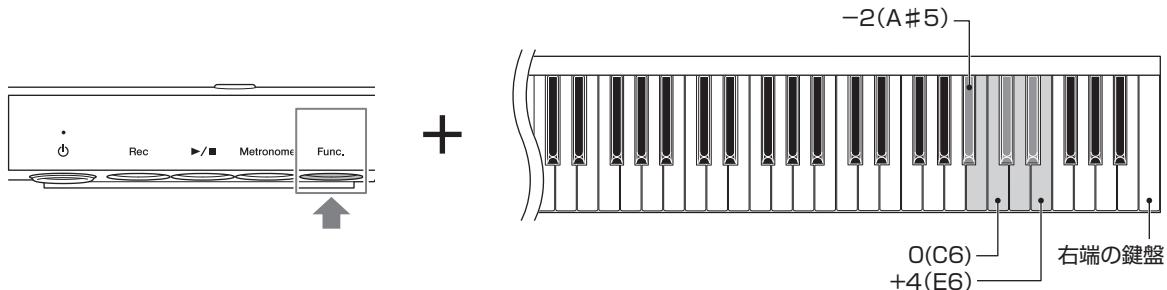
初期設定：0

NOTE

- 外部から入力された音声、録音済みのソングはトランスポーズされません。
- 演奏情報(ノートオン/オフ)をコンピューターなどにMIDI送信する場合、ノートナンバーはトランスポーズされた値で送信されます。ノートオン/オフをMIDI受信した場合は、受信したままのノートナンバーで発音します(トランスポーズされません)。

■ ハーフペダルの位置

ダンパーペダルをどのくらい踏み込めばハーフペダルの効果がかかり始めるのかを設定します。設定値が小さいほど、浅い踏み込みでハーフペダルの効果がかかります。



設定範囲：-2～0～+4

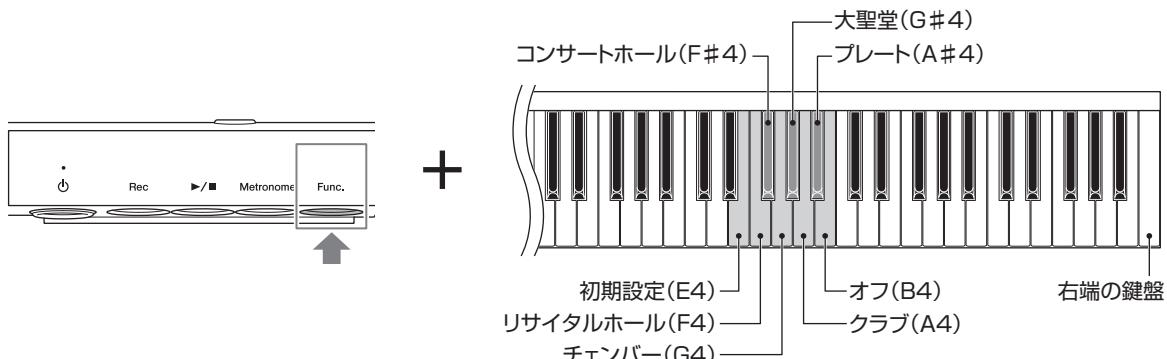
初期設定：0

ハーフペダル機能とは

ペダルの踏み加減で音の伸び具合が調節できる機能です。ペダルを踏みこむほど音が長く伸びます。ペダルを踏んで音が響きすぎたとき、踏み込んだ状態からペダルを少し戻して音の響きを抑える（音の濁りを減らす）ことができます。

■ リバーブ（残響効果）の種類

ピアノの響きは部屋の大きさや材質によって変化し、特に残響はその影響を大きく受けます。リバーブ機能を使うと、コンサートホールなどの残響をシミュレートすることにより、臨場感溢れる演奏を楽しむことができます。音色を選ぶと、自動的に最適なリバーブの種類が設定されますが、好みに合わせて変更できます。



リバーブの種類一覧

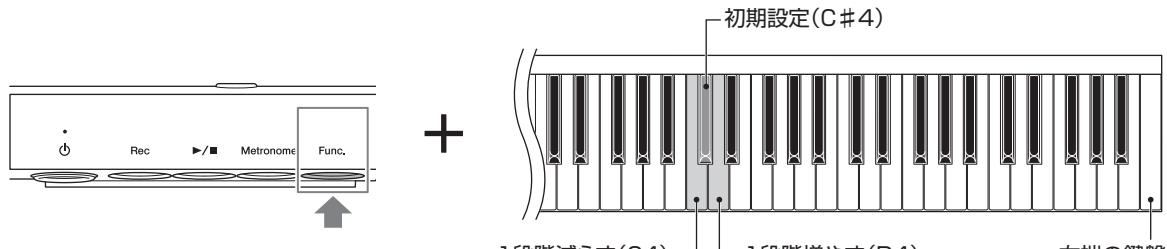
| リバーブの種類 | 効果 |
|----------|---------------------------------|
| 初期設定 | 選んだ音色の初期設定に戻ります。 |
| リサイタルホール | ピアノリサイタル向けの中規模ホールのクリアな響きです。 |
| コンサートホール | オーケストラの公演が行なわれる大きなホールの華やかな響きです。 |
| チェンバー | 室内楽に適した、宮廷内の広間の落ち着きのある響きです。 |
| 大聖堂 | 天井の高い石造りの大聖堂の荘厳な響きです。 |
| クラブ | ライブハウスやジャズクラブのメリハリのある響きです。 |
| プレート | 録音スタジオで使用される往年のリバーブ装置の明るい響きです。 |
| オフ | リバーブをオフにします。 |

NOTE

電源を切るとリバーブは初期設定に戻ります。

■ リバーブの深さ(かかり具合)

音色を選ぶと、自動的に最適なリバーブの深さが設定されますが、好みに合わせて変更できます。



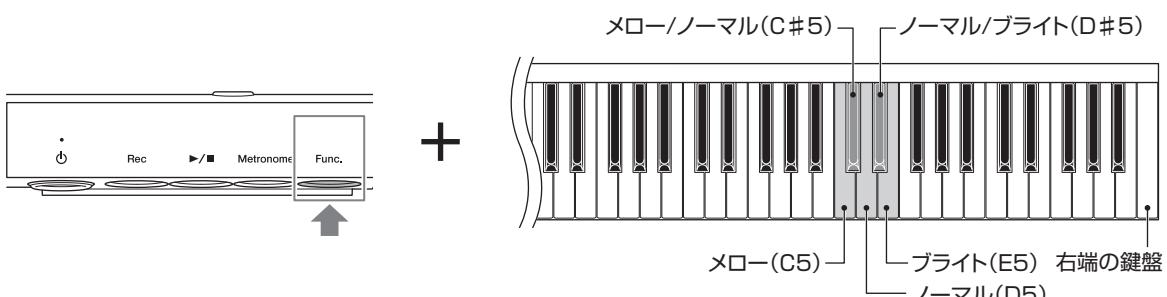
設定範囲：1～20

NOTE

電源を切るとリバーブは初期設定に戻ります。

■ ブリリアンス

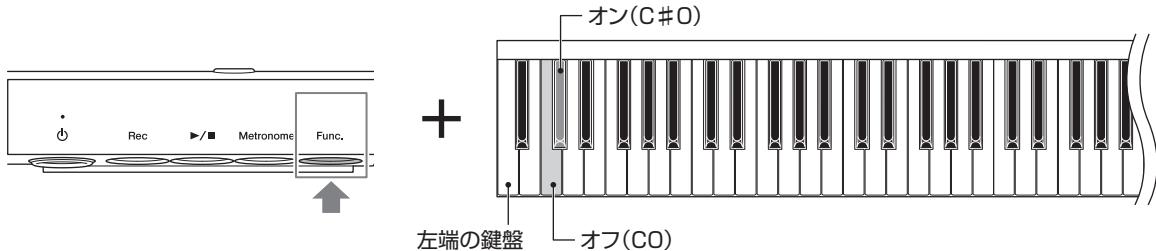
鍵盤演奏音の明るさ(ブリリアンス)を設定します。メローにすると柔らかくまろやかな音になり、ブライトにすると明るく鋭い音になります。



初期設定：ノーマル

■ バイノーラル オン/オフ

バイノーラルサンプリングのオン/オフを設定します。オンの場合は、バイノーラルサンプリングまたはステレオフォニックオプティマイザーにより、ヘッドフォン使用時でもアコースティックピアノと同様に臨場感のある音が楽しめます(16ページ)。

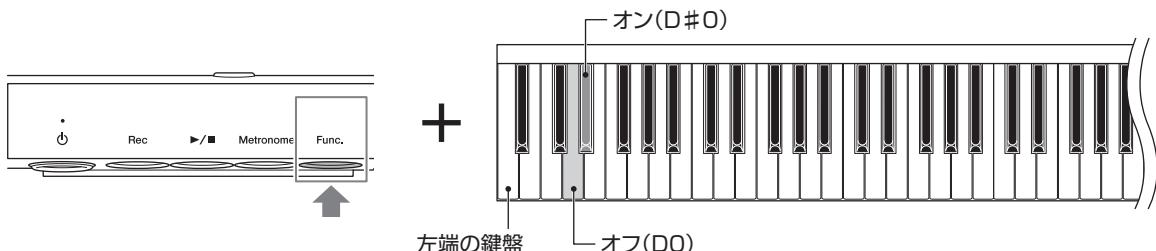


初期設定：オン

バイノーラルサンプリング、またはステレオフォニックオプティマイザーは、ヘッドフォンで聞くのに最適になるように作られています。そのため、スピーカーなどの外部オーディオ機器で、本機での演奏や録音したオーディオソングを聞く場合は、この機能をオフにしておくことをおすすめします。(オーディオ録音した曲をあとでスピーカーで聞く場合は、録音前にオフにしておきます。)

■ VRM オン/オフ

VRM(下記参照)のオン/オフを設定します。VRMの機能や効果を付けられる音色は、「音色を選ぶ」(15ページ)をご覧ください。

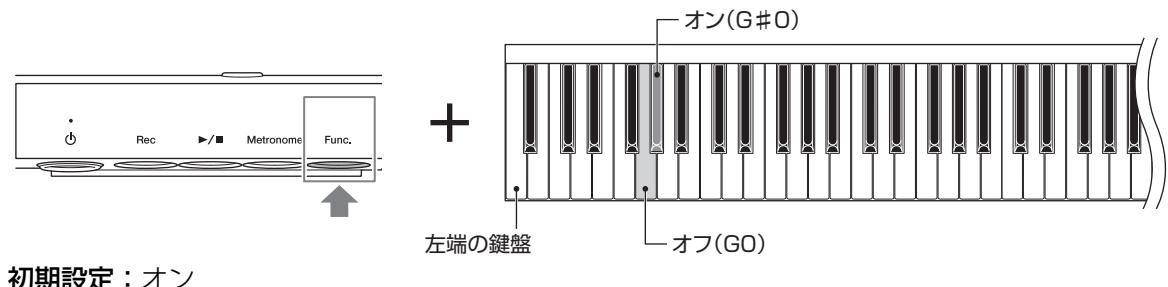


初期設定：オン

VRM (Virtual Resonance Modeling/ バーチャル・レゾナンス・モデリング)とは
アコースティックピアノでは、ダンパー・ペダルを踏んで演奏すると、弾いた鍵盤の音が伸びるだけでなく、その鍵盤の弦の振動がほかの弦や響板へ伝わっていき、それぞれが影響しあって豊かで華やかな共鳴音が広がります。本機に搭載されたVRMは、そのような弦と響板の複雑な相互作用を、仮想的な楽器(物理モデル)の上で忠実に再現することで、よりアコースティックピアノに近い響きを作り出します。鍵盤やペダルの状態に合わせて、瞬間瞬間の共鳴音を作り出しているので、鍵盤を押さえるタイミングや、ペダルを踏むタイミングと深さを変えることで、多彩な響きが得られます。

■ ローカルコントロール

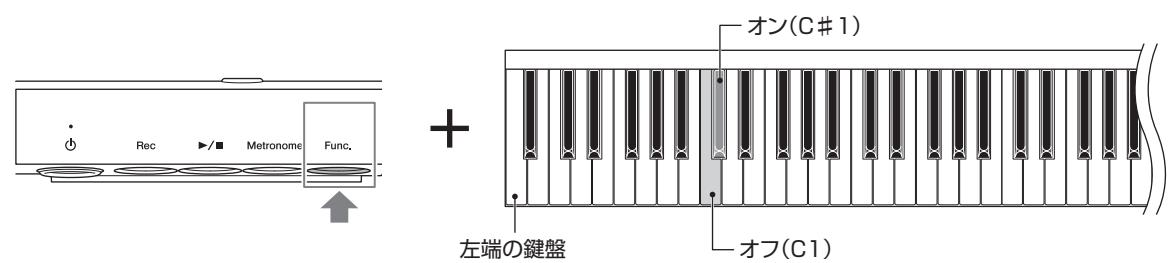
ローカルコントロールのオン/オフを設定します。通常、鍵盤を弾くと本機の「音源部」から音が鳴ります。この状態を、ローカルコントロール=オンといいます。ローカルコントロールをオフにすると「鍵盤」と「音源」が切り離され、鍵盤を弾いても本体から音が出なくなります。ただし、鍵盤演奏の情報はMIDI送信されるので、本体では音を鳴らさずにUSB接続したコンピューターなどを経由して外部MIDI音源の音が鳴ります。



初期設定：オン

■ オートパワーオフ

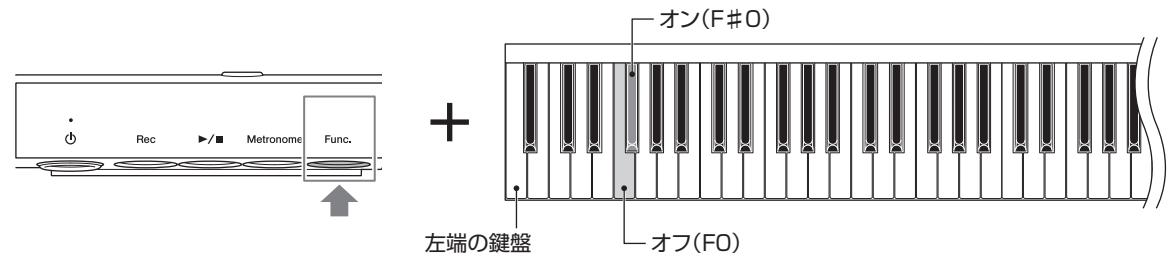
オートパワーオフ機能(13ページ)のオン/オフを切り替えます。自動的に電源を切りたくない場合はオフに設定してください。



初期設定：オン

■ AUX IN ノイズゲート

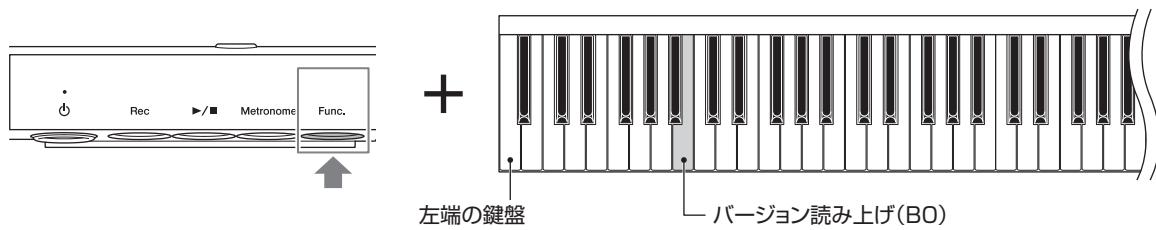
AUX IN ノイズゲートは[AUX IN]端子から入力された音声の余分なノイズをカットする機能です。初期状態ではオンに設定されていますが、本来ノイズではないピアノの減衰音のような小さな音までカットされる場合は、オフにすることもできます。



初期設定：オン

■ バージョン読み上げ

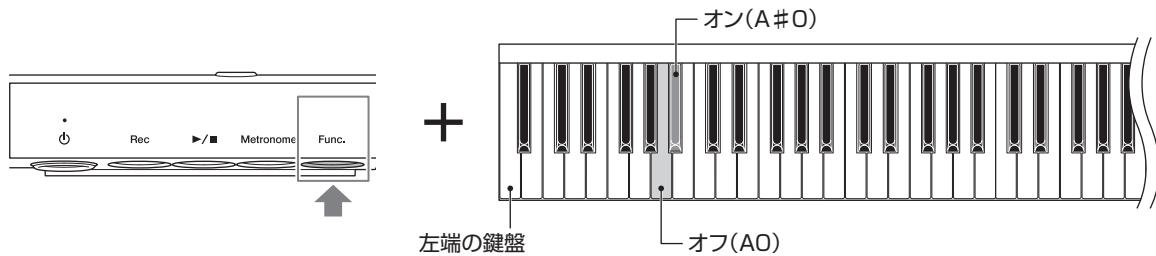
本機のファームウェアのバージョンを音声(英語)で読み上げます。



■ オーディオループバック

USBオーディオインターフェース機能や無線LAN接続による、コンピューターやスマートデバイスから本機へのオーディオ入力音(29ページ)を、本機での演奏音とともにコンピューターやスマートデバイスに出力する(オーディオループバックする)かどうかを設定できます。出力する場合はオンに、出力しない場合は、オフにします。

たとえば、コンピューターやスマートデバイスを使って、本機での演奏音だけでなく本機へ入力したオーディオ再生音も録音したい場合はオンに、本機での演奏音だけを録音したい場合はオフにします。



初期設定：オン

注記

DAW (Digital Audio Workstation)などの音楽制作用アプリケーションと一緒に使用する場合、設定によっては大きな音が発生することがあるため、オーディオループバックをオフにしてご使用ください。

NOTE

- 本機でのオーディオソング再生音は、この設定がオンのときはコンピューターやスマートデバイスに出力されますが、オフのときは出力されません。
- 本機でのオーディオ録音では、この設定がオンのときはコンピューターやスマートデバイスからのオーディオ入力音も録音されますが、オフのときは録音されません。

バックアップデータと本機の初期化

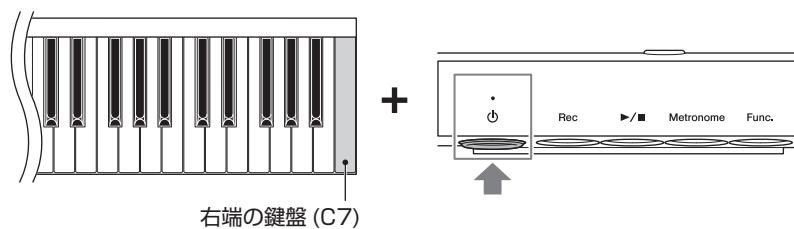
■ バックアップデータ

下記のデータは、本機の内蔵メモリーに自動的に保存されます。これをバックアップデータといいます。バックアップデータと、内蔵メモリーに保存されたMIDIソングは、電源を切っても記憶されています。

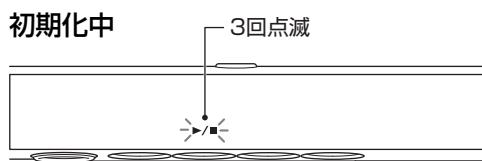
- ・ブリリアンスの設定 35ページ
- ・タッチ感度の設定 32ページ
- ・マスターチューニングの設定 33ページ
- ・メトロノーム音量 19ページ
- ・ハーフペダルの位置 34ページ
- ・バイノーラル機能のオン/オフ 36ページ
- ・オートパワー機能のオン/オフ 37ページ
- ・AUX INノイズゲートのオン/オフ 37ページ
- ・オーディオループバックのオン/オフ 38ページ

■ 本機の初期化(イニシャライズ)

右端の白鍵(C7)を押したまま[](スタンバイ/オン)スイッチを押して電源を入れます。この操作をすると、本機に記憶されているバックアップデータが消去され、初期設定に戻ります。内蔵メモリーに保存したMIDIソングは消去されません。



データの消去中は[](再生/停止)ランプが3回点滅します。すべてのランプが点灯したら、消去が完了です。



注記

初期化実行中は、電源を切らないでください。内蔵メモリーに録音したMIDIソングのデータが消えたり、バックアップデータが破損したりするおそれがあります。

NOTE

本機が、何らかの原因で操作不能になったり、誤動作した場合は、いったん電源を切り、初期化を行なってください。

故障かな？と思ったら

本機が正常に動作しない場合は、以下の項目をご確認ください。下記を試しても改善されなかったり、下記以外の異常がある場合は、お買い上げ店または最寄りのヤマハ特約楽器店までご連絡ください。ご自分で本機および電源アダプターの内部を開けたり、分解、改造したりしないでください。

☞ 電源を入れても音がしない。

- 電源アダプターが抜けているかもしれません。確実に差し込んでください。
- [VOLUME] つまみが左一杯の位置になっているかもしれません。適正位置に調整してください。標準音量は、[VOLUME] つまみが時計の3時の位置になるように設定されています。

☞ 電源が勝手に切れる。

- オートパワーオフ機能が働いたためです。必要に応じて、オートパワーオフ機能を無効にしてください(13ページ)。

☞ 消音演奏時にもアコースティックピアノの音が出る。

- 極度に強く打鍵するとアコースティックピアノの音が出ることがあります。打鍵の強さを加減してください。

☞ 市販のヘッドフォンで聞くと音のバランスが異なる。

- ヘッドフォンの種類によってそれぞれ特性が異なるため、ヘッドフォンによってはバランスが異なることがあります。

☞ 市販のヘッドフォンで聞くと音量が異なる。

- ヘッドフォンの種類によってそれぞれ特性が異なるため、ヘッドフォンによっては音量が異なることがあります。

☞ 消音演奏時にピアノの本体からカタカタという音がする。

- 故障ではありません。アコースティックピアノ本来の打鍵音です。

☞ 消音演奏の連打時に演奏と異なる強音が発音する。

- 消音機構の構造上発生する場合があり、故障ではありません。

☞ リバーブがかからない。

- リバーブの深さが最小になっているかもしれません。適度な深さに設定してください(34ページ)。

☞ 音が残りすぎる。(残響がかかりすぎる。)

- リバーブ設定が深すぎるかもしれません。適度な深さに設定してください(34ページ)。

☞ ほかの楽器とピッチが合わない。

- 本機はピッチを調整してほかの楽器に合わせることができます(33ページ)。

☞ USBフラッシュメモリーが反応しない。

- 一度本機から外し、再び接続してください。改善しない場合は、そのUSBフラッシュメモリーが壊れている可能性があります。
- お使いのUSBフラッシュメモリーが動作確認済みの機種かどうかを確認してください(23ページ)。

☞ USBフラッシュメモリーに保存した曲を再生できない。

- USBフラッシュメモリーに保存した曲は、最新の録音曲のみ再生できます。以前に録音した曲を再生するには、コンピューターや携帯音楽プレーヤーなどのオーディオファイルを再生可能な機器で再生してください。

☞ [AUX IN] 端子から入力した音が途切れる。

- ノイズゲート機能(37ページ)が働いたためです。[AUX IN] 端子に接続した機器の音量(出力レベル)を大きくしてください。または、ノイズゲートをオフにしてください。

仕様

| | | | |
|---------------------|------------------|-----------------------|---|
| 操作子 | 鍵盤 | タッチ感度 | ハード、ミディアム/ハード、ミディアム、 ソフト/ミディアム、ソフト、固定 |
| | ペダル | | ダンパー、消音/ソステナート*、ソフト *ソステナートペダル搭載モデルのみ (消音機能ご使用時には効果はかかりません) |
| | センサー | 鍵盤部 | 非接触 連続検出 光センサー |
| | | ダンパーペダル | 連続検出 |
| | | ソフトペダル | オン/オフ検出 |
| 消音システム | 消音方式 | | ハンマーシャンクストッパー方式(消音ペダル) |
| 音源/音色 | 音源 | ピアノ音源 | ヤマハCFXサンプリング、 ベーゼンドルファー インペリアルサンプリング |
| | | バイノーラル サンプリング | ○(「CFX グランド」音色のみ) |
| | ピアノ音源の 効果 | VRM | ○ |
| | | キーオフ サンプリング | ○ |
| | | スムースリリース | ○ |
| | 最大同時発音数 | | 256 |
| | プリセット | 音色数 | 10 |
| 効果 | タイプ | リバーブ | ○ |
| | | ブリリアンス | ○ |
| | | ステレオフォニック オブティマイザー | ○ |
| | プリセット | 内蔵曲数 | ボイスデモ 10 + クラシック曲 50 |
| 録音/再生 (MIDIソング) | 録音 | 曲数 | 1 |
| | | データ容量 | 約500KB |
| | フォーマット | 録音 | SMF(フォーマット0) |
| | 録音時間(最大) | | 80分/曲 |
| 録音/再生 (オーディオソング) | フォーマット | 再生 | WAV(44.1kHz、16bit、ステレオ) |
| | | 録音 | WAV(44.1kHz、16bit、ステレオ) |
| ファンクション | 全体設定 | メトロノーム | ○ |
| | | テンポ | 5~500 |
| | | トランスポーズ | -6~0~+6 |
| | | チューニング | 414.8~440.0~466.8 Hz(約0.2 Hz単位) |
| | USBオーディオインターフェース | | 44.1 kHz、16 bit、ステレオ |
| | メモリー/ 接続端子 | 内蔵メモリー | 約550 KB |
| | | 外付けメモリー | USBフラッシュメモリー |
| | 接続端子 | DC IN | 16 V |
| | | ヘッドフォン | ステレオミニ端子(×2) |
| | | AUX IN | ステレオミニ端子 |
| | | USB TO DEVICE | ○ |
| | | USB TO HOST | ○ |
| 電源部 | 定格電源 | | AC 100V 50/60 Hz |
| | 電源アダプター | | PA-300C(またはヤマハ推奨の同等品) |
| | 消費電力 | | 11 W(電源アダプターPA-300C使用時) |
| | オートパワーオフ | | ○ |
| 質量 | | | 4 kg(ピアノ本体質量を除く) |
| 付属品 | | | 電源アダプター、電源コード、ヘッドフォン、ヘッドフォンハンガー、ヘッドフォンハンガーアクセサリ、取扱説明書 |
| 別売品 | | | USB無線LANアダプター(UD-WL01)、 ワイヤレスMIDIアダプター(UD-BT01) |

本書は、発行時点での最新仕様で説明しています。最新版は、ヤマハウェブサイトからダウンロードできます。

ソング一覧

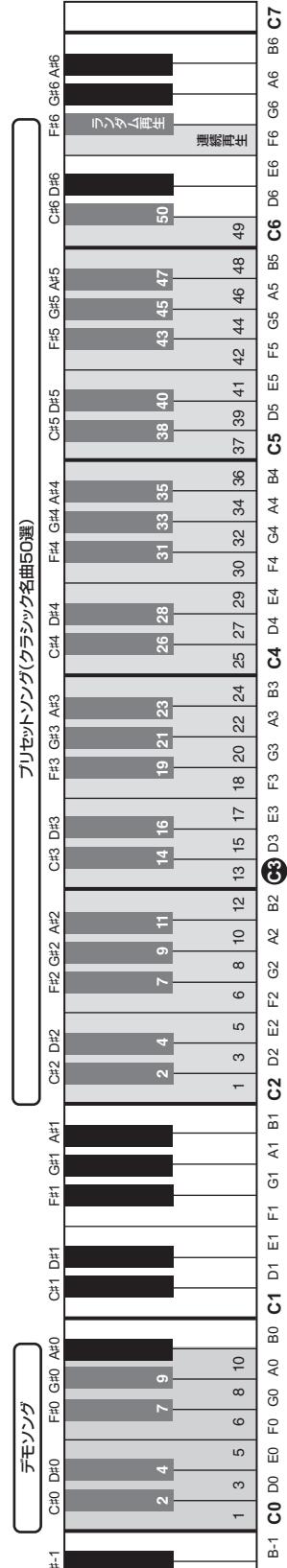
クラシック名曲50選

| No. | 鍵盤 | 曲名 | 作曲者 |
|-------|-----|--------------------------|-------------------|
| アレンジ曲 | | | |
| 1 | C2 | カノン | J. パッヘルベル |
| 2 | C♯2 | G線上のアリア | J. S. バッハ |
| 3 | D2 | 主よ、人の望みの喜びよ | J. S. バッハ |
| 4 | D♯2 | きらきら星 | トラディショナル |
| 5 | E2 | ピアノソナタ 第17番 「テンペスト」 第3楽章 | L. v. ベートーヴェン |
| 6 | F2 | 歡喜の歌 | L. v. ベートーヴェン |
| 7 | F♯2 | 子守唄 | F. P. シューベルト |
| 8 | G2 | 華麗なる大円舞曲 | F. F. ショパン |
| 9 | G♯2 | 英雄ポロネーズ | F. F. ショパン |
| 10 | A2 | ラ・カンパネラ | F. リスト |
| 11 | A♯2 | 愛のあいさつ | E. エルガー |
| 12 | B2 | 家路 | A. ドヴォルザーク |
| 13 | C3 | シリエンヌ | G. U. フォーレ |
| 14 | C♯3 | 月の光 | C. A. ドビュッシー |
| 15 | D3 | 木星 (組曲「惑星」) | G. ホルスト |
| 連弾曲 | | | |
| 16 | D♯3 | メヌエット (アイネ・クライネ・ナハトムジーク) | W. A. モーツアルト |
| 17 | E3 | メヌエット ト長調 | L. v. ベートーヴェン |
| 18 | F3 | トルコ行進曲 | L. v. ベートーヴェン |
| 19 | F♯3 | ピアノ協奏曲 第1番 第2楽章 | F. F. ショパン |
| 20 | G3 | くるみ割り人形メドレー | P. I. チャイコフスキイ |
| 原曲 | | | |
| 21 | G♯3 | 前奏曲(平均律第1巻第1番) | J. S. バッハ |
| 22 | A3 | メヌエット ト長調 | J. S. バッハ |
| 23 | A♯3 | ピアノソナタ 第15番 第1楽章 | W. A. モーツアルト |
| 24 | B3 | トルコ行進曲 | W. A. モーツアルト |
| 25 | C4 | ピアノソナタ 第8番 「悲愴」 第2楽章 | L. v. ベートーヴェン |
| 26 | C♯4 | エリーゼのために | L. v. ベートーヴェン |
| 27 | D4 | ピアノソナタ 第14番 「月光」 第1楽章 | L. v. ベートーヴェン |
| 28 | D♯4 | 即興曲 作品90 第2番 | F. P. シューベルト |
| 29 | E4 | 春の歌 | J. L. F. メンデルスゾーン |
| 30 | F4 | 幻想即興曲 | F. F. ショパン |
| 31 | F♯4 | 別れの曲 | F. F. ショパン |
| 32 | G4 | 革命のエチュード | F. F. ショパン |
| 33 | G♯4 | 小犬のワルツ | F. F. ショパン |
| 34 | A4 | ノクターン 第2番 変ホ長調 | F. F. ショパン |
| 35 | A♯4 | ノクターン 第20番 嬰ハ短調 [遺作] | F. F. ショパン |
| 36 | B4 | トロイメライ | R. シューマン |
| 37 | C5 | 舟歌 | P. I. チャイコフスキイ |
| 38 | C♯5 | 乙女の祈り | T. バダジエフスカ |
| 39 | D5 | 愛の夢 第3番 | F. リスト |
| 40 | D♯5 | 花の歌 | G. ラング |
| 41 | E5 | ユーモレスク | A. ドヴォルザーク |
| 42 | F5 | アリエッタ | E. H. グリーグ |
| 43 | F♯5 | タンゴ(スペインより) | I. アルベニス |
| 44 | G5 | エンターテイナー | S. ジョプリン |
| 45 | G♯5 | メイプル・リーフ・ラグ | S. ジョプリン |
| 46 | A5 | 亜麻色の髪の乙女 | C. A. ドビュッシー |
| 47 | A♯5 | アラベスク 第1番 | C. A. ドビュッシー |
| 48 | B5 | ケークウォーク | C. A. ドビュッシー |
| 49 | C6 | ジュトゥヴ | E. サティ |
| 50 | C♯6 | ジムノペディ 第1番 | E. サティ |

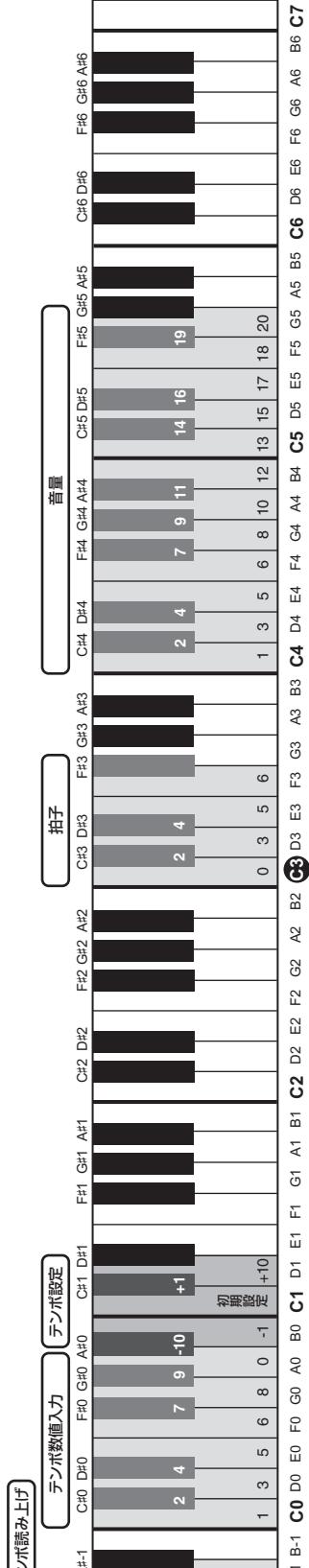
鍵盤操作一覧

コントロールユニットのボタンを押したまま該当する鍵盤を押して設定します。

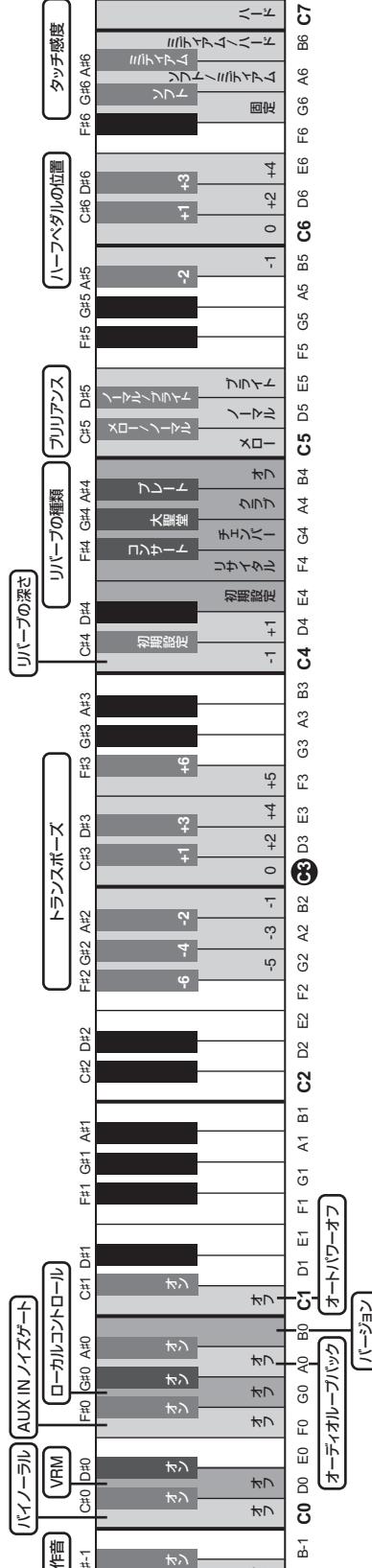
■ デモソング / プリセットソング



■ メトロノーム



■ そのほかの機能



索引

A

- AUX IN 28
AUX INノイズゲート 37

I

- iPhone/iPad接続マニュアル 2

M

- MIDIソング 20, 27
MIDIリファレンス 2
MIDI録音 20

U

- USB [TO DEVICE] 23
USB [TO HOST] 30
USBオーディオインターフェース 30
USB機器 23
USBフラッシュメモリー 23

V

- VRM 36

ア

- アクセスポイントモード 30

イ

- イニシャライズ 39
インフラストラクチャー モード 30

オ

- オーディオソング 20, 22
オーディオループバック 38
オーディオ録音 20, 22
オートパワー オフ 13, 37
音色 15
音色一覧 15
音色デモ曲 24
音量(本体) 14
音量(メトロノーム) 19

カ

- 外部スピーカー 13

ケ

- 鍵盤操作一覧 43

コ

- 故障かな?と思ったら 40
コントロールユニット 11
コンピューターとつなぐ 2

サ

- 再生 21, 22, 24, 25
再生テンポ 27
残響効果 34

シ

- 仕様 41
消音演奏 14
初期化(USBフラッシュメモリー) 23
初期化(本体) 39

ス

- ステレオフォニックオプティマイザー 16
スマートデバイス 29
スマートピアニスト 3

ン

- 操作音 32
ソング 20
ソング一覧 42

タ

- タッチ 32

チ

- チューニング 33

テ

- デモソング 24
電源 12
テンポ(ソング) 27
テンポ(メトロノーム) 18

ト

- トランスポーズ 33

ノ

ノイズゲート(AUX IN) 37

ハ

バージョン 38

バーチャル・レゾナンス・モデリング(VRM)
..... 36

ハーフペダル 34

バイノーラル 16, 36

バックアップ 39

バックアップデータ 39

ヒ

拍子(メトロノーム) 17

フ

ファームウェアバージョン 38

ファンクション設定 31

フォーマット(USBフラッシュメモリー) 23

付属品 2

プリセットソング 25

ブリリアンス 35

ヘ

ペダル 10

ヘッドフォン 13

ヘッドフォンハンガー 13

ホ

ボリューム(本体) 14

ボリューム(メトロノーム) 19

マ

マスター調音 33

ム

無線LAN 30

メ

メトロノーム 17

リ

リバーブ 34

レ

連続再生 25

ロ

ローカルコントロール(MIDI) 37

録音 20, 22

保証とサービスについて

本機の保証期間は、保証書に記入されたお買い上げの日付から1カ年です（現金、ローン、月賦などによる区別はございません）。また保証は、日本国内にてのみ有効いたします。

保証書

保証書をお受け取りのときは、お客様のご住所、お名前、お買い上げの年月日、販売店名などを必ずご確認ください。無記名の場合は無効となりますので、くれぐれもご注意ください。

保証書は大切に保管しましょう

保証書は弊社が、本機をご購入いただいたお客様に、保証規定に則り、お買い上げの日から向こう1カ年の無償サービスをお約束申し上げるものですが、万一紛失なさいますと保証期間中であっても実費を頂戴させていただくことになります。いつでもご提示いただけますように、十分ご配慮のうえで保管してください。また、後のサービスに際しての機種の判別や、サービス依頼店の確認などにも役立ちます。保証期間が切れましても、お捨てにならないでください。

保証期間中のサービス

保証期間中に万一故障が発生した場合、お買い上げ店にご連絡いただきますと、技術者が修理・調整いたします。この際、必ず保証書をご提示ください。保証書なき場合には、サービス料金をいただく場合もあります。また、お買い上げ店より遠方に移転される場合は、事前にお買い上げ店あるいはヤマハにご連絡ください。移転先におけるサービス担当店をご紹介申し上げますと同時に、引き続き保証期間中のサービスを責任をもって行なうよう手続きいたします。

満1カ年の保証期間を過ぎますとサービスは有料になりますが、引き続き責任をもってサービスさせていただきます。なお、補修用性能部品の保有期間は最低8年となっています。そのほかご不明な点などございましたら、下記のヤマハサービス網までお問い合わせください。

本機についてのお問い合わせは、最寄りのヤマハピアノ特約店／下記のヤマハへ

◇ピアノの機能や取り扱い、その他本機全般についてのお問い合わせ

最寄りの特約楽器店、または下記ヤマハお客様コミュニケーションセンターへお問い合わせください。

お客様コミュニケーションセンター ピアノご相談窓口

ナビダイヤル **0570-003-808**

上記番号でつながらない場合は053-460-4835へおかけください。

受付時間 月～金 10:00～17:00（土曜、日曜、祝日およびセンター指定の定休日を除く）
<https://jp.yamaha.com/support/>

◇ピアノの修理についてのお問い合わせ

お買い上げ店、または下記ヤマハ修理ご相談センターへお問い合わせください。

ヤマハ修理ご相談センター

ナビダイヤル **0570-012-808**

上記番号でつながらない場合は053-460-4830へおかけください。

受付時間 月～金 10:00～17:00（土曜、日曜、祝日およびセンター指定の定休日を除く）

※名称、住所、電話番号などは変更になる場合があります。

上記お問い合わせ先は、日本国内でご購入いただいたお客様専用です。日本語のみのご案内になりますので、あらかじめご了承ください。



ヤマハ株式会社

〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町 10-1

Manual Development Group
© 2018 Yamaha Corporation

2019年7月 改訂 MW-B0

YJ709B0